

# 「感震ブレーカーに関するアンケート」

## 報告書

令和7年3月

川崎市



# 目次

---

I .調査概要 .....	1
1 調査目的 .....	1
2 調査対象 .....	1
3 調査期間 .....	1
4 調査方法 .....	1
5 回答状況 .....	1
6 集計結果の見方 .....	1
II .調査の結果 .....	2
1 あなたの世帯について、全員の方にお伺いします。 .....	2
(1) 世帯人数 .....	2
(2) 世帯主の年齢 .....	2
2 現在お住まいの住宅について、全員の方にお伺いします。 .....	3
(3) 居住地域 .....	3
(4) 建物種類 .....	3
(5) 建物構造 .....	4
(6) 持ち家／借家 .....	4
(7) 居住期間 .....	5
(8) 建築時期 .....	5
3 大規模地震に伴って発生する電気火災について、全員の方にお伺いします。 .....	6
(9) 地震時の電気火災についての認知 .....	6
(9－1) 電気火災の存在を認識したきっかけ .....	6
4 感震ブレーカーについて、全員の方にお伺いします。 .....	7
(10) 感震ブレーカーについての認知 .....	7
(11) 感震ブレーカーの設置状況について .....	11
(12) 設置している感震ブレーカーの種類 .....	16

(13) 設置、または設置を決めた時期	18
(14) 設置、または設置を決めたタイミング	18
(15) 感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけ	19
(16) バッテリーや非常用電源の備え	22
(17) 感震ブレーカーの設置を考える前と現在とで、防災に対する意識や行動の変化について	22
(18) 感震ブレーカーの設置意向	23
(18-1) 感震ブレーカーの設置に至っていない理由	28
(18-2) 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由	34
5 防災対策大規模地震時に揺れが収まった後の行動について、全員の方にお伺いします。 ....	42
(19) 地震時の防災対策として意識していること、取り組み	42
(20) 揺れが収まった後に取るであろう行動	46
III.アンケート調査票	47

# I .調査概要

## 1 調査目的

大規模地震時における、電気火災の発生防止に効果的な感震ブレーカーの設置率を把握することで、今後の本市における感震ブレーカーのあり方を検討する基礎資料とするために、調査を実施した。

## 2 調査対象

川崎市不燃化重点対策地区一部に選定されている川崎区小田1丁目～6丁目、幸区幸町1丁目～4丁目の全世帯

## 3 調査期間

令和7年1月9日（木）から同年2月21日（金）まで

## 4 調査方法

対象世帯に調査票をポスティング投函し、回答は郵送又はインターネット回答フォームで回収

## 5 回答状況

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 配布数  | 9,220 世帯                                |
| (2) 回答数  | 1,883 (回答率 20.4%)                       |
| (3) 回答手段 | 郵送 1,335 (70.9%)<br>インターネット 548 (29.1%) |

## 6 集計結果の見方

回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

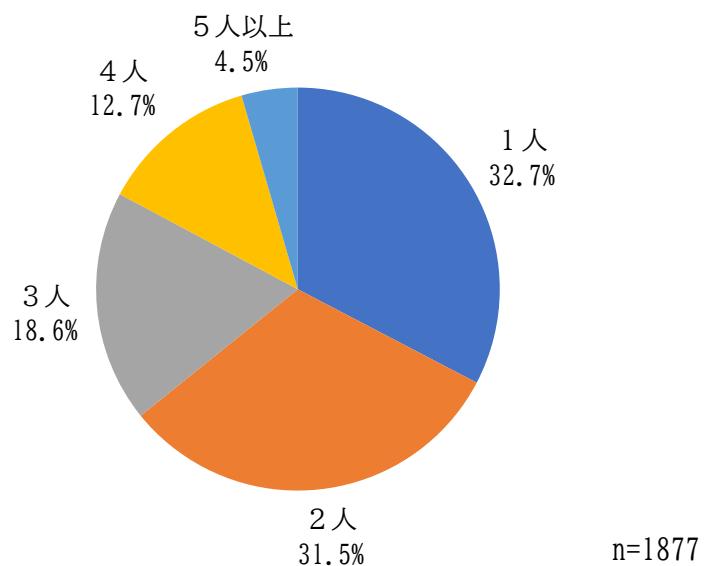
## II. 調査の結果

1 あなたの世帯について、全員の方にお伺いします。

### (1) 世帯人数

問1. 世帯人数は何人ですか。(○は1つ)

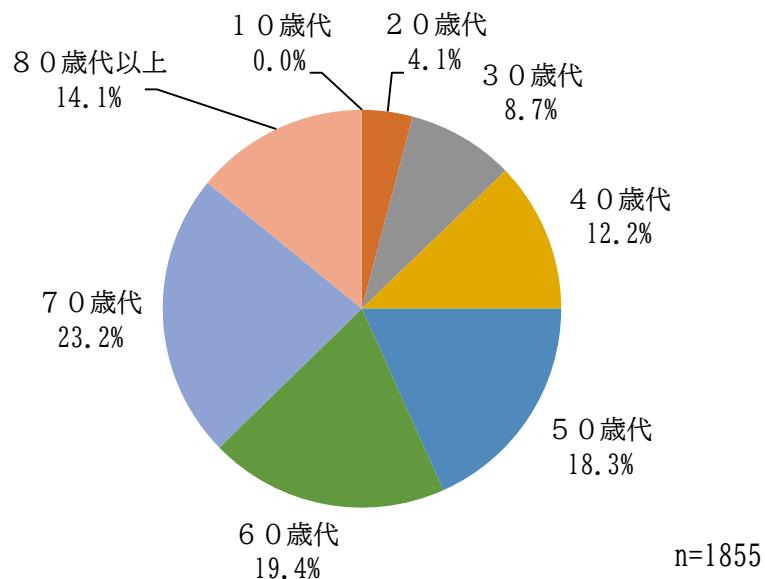
世帯人数について、「1人」が32.7%と最も高く、次いで「2人」が31.5%、「3人」が18.6%となっている。



### (2) 世帯主の年齢

問2. 世帯主の方の年齢(年代)はどれですか。(○は1つ)

世帯主の年齢について、「70歳代」が23.2%と最も高く、次いで「60歳代」が19.4%、「50歳代」が18.3%、「80歳代以上」が14.1%となっており、50歳代以上が全体の7割以上を占めている。

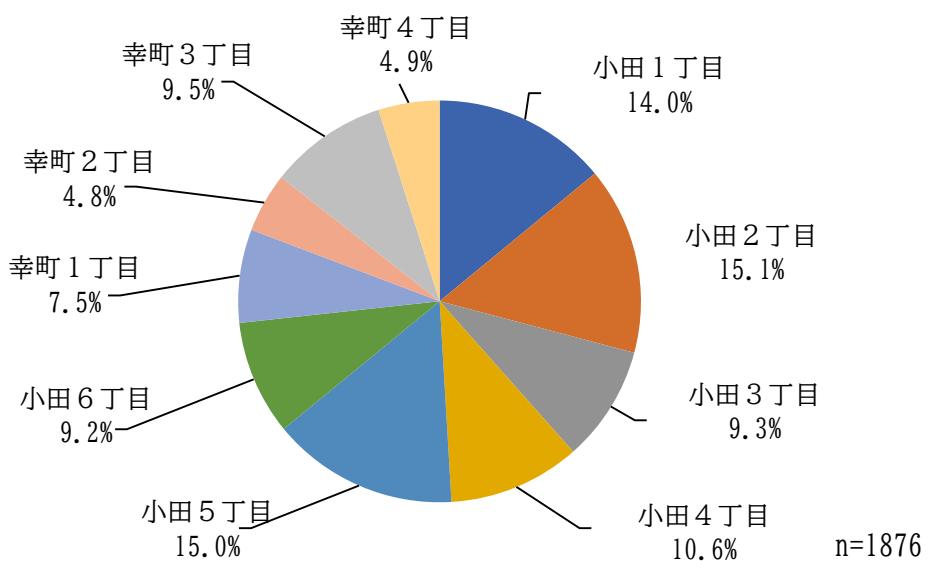


## 2 現在お住まいの住宅について、全員の方にお伺いします。

### (3)居住地域

#### 問3. お住いの丁目はどちらですか。(○は1つ)

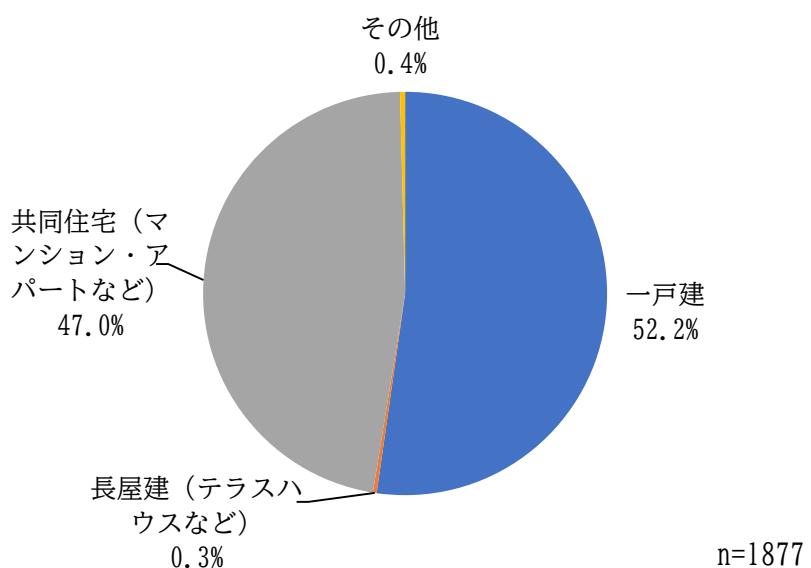
お住いについて、「小田2丁目」が15.1%と最も高く、次いで「小田5丁目」が15.0%、「小田1丁目」が14.0%となっている。



### (4)建物種類

#### 問4. どのような建て方ですか。(○は1つ)

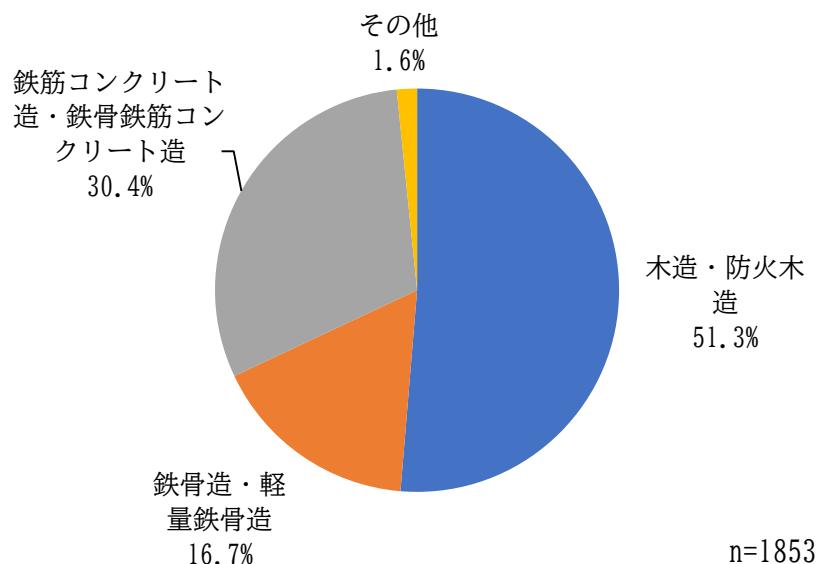
建て方について、「一戸建」が52.2%と最も高く、次いで「共同住宅(マンション・アパートなど)」が47.0%となっている。



## (5)建物構造

### 問5. どのような構造ですか。(○は1つ)

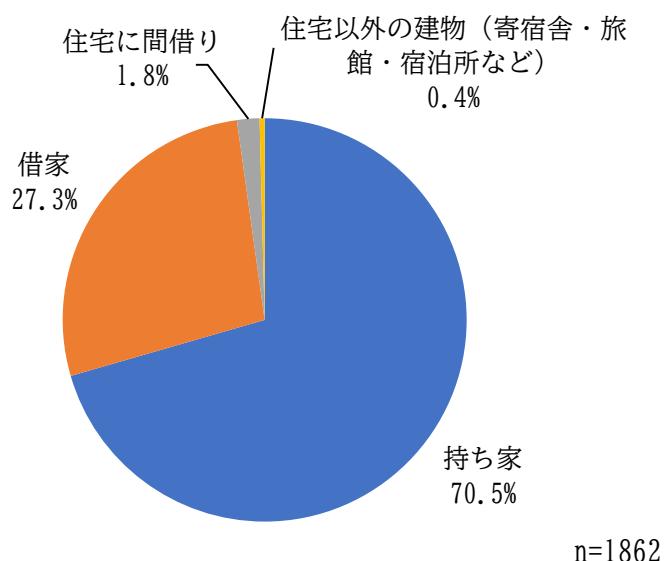
構造について、「木造・防火木造」が51.3%と最も高く、次いで「鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造」が30.4%となっている。



## (6)持ち家／借家

### 問6. 持ち家か借家かなどの別 (○は1つ)

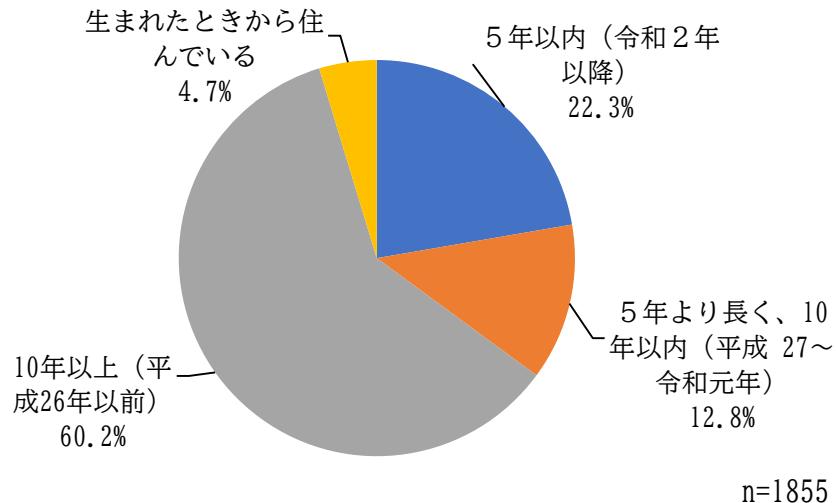
持ち家か借家かについては、「持ち家」が70.5%、「借家」が27.3%となっている。



## (7)居住期間

### 問7. 現在お住まいの住宅への居住期間（入居時期）（○は1つ）

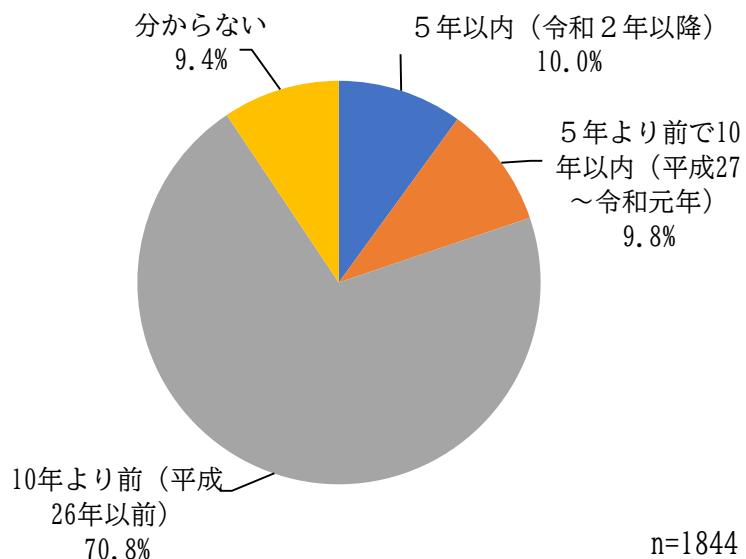
現在お住まいの住宅への居住期間について、「10年以上（平成26年以前）」が60.2%と最も高く、次いで「5年以内（令和2年以降）」が22.3%となっている。



## (8)建築時期

### 問8. 現在のお住まいの建築（完成）の時期（○は1つ）

現在のお住まいの建築時期について、「10年より前（平成26年以前）」が70.8%と最も高く、次いで「5年以内（令和2年以降）」が10.0%となっている。

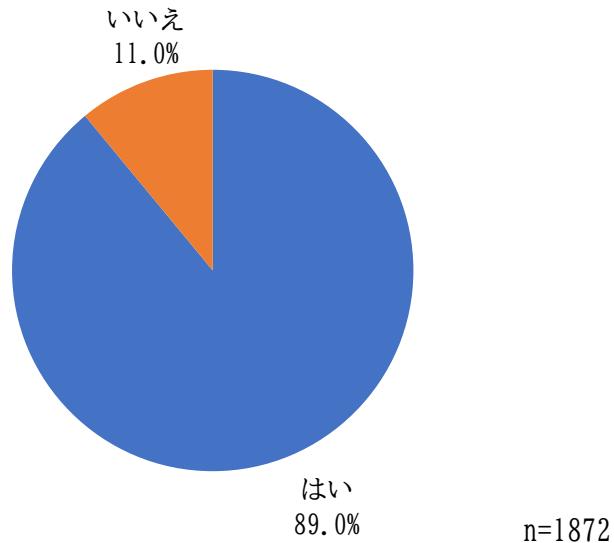


### 3 大規模地震に伴って発生する電気火災について、全員の方にお伺いします。

#### (9)地震時の電気火災についての認知

問9．地震時に、電熱器具や配線など、電気が原因で火災が発生する場合があることをご存じですか。（この調査を実施する前の状態でお答えください。）（○は1つ）

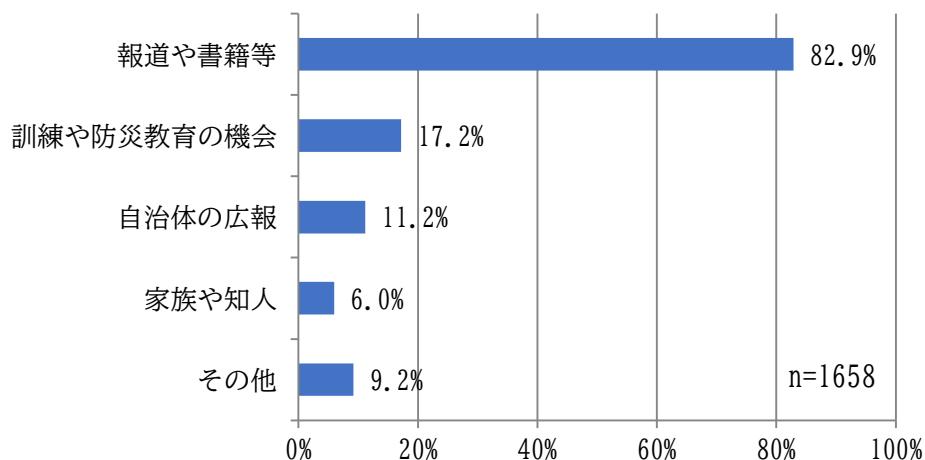
地震時に電気が原因で火災が発生することの認知について、「はい」が89.0%と高くなっている。



#### (9-1)電気火災の存在を認識したきっかけ

問9-1．電気火災の存在を認識したきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

電気火災の存在を認識したきっかけについて、「報道や書籍等」が82.9%と最も高く、次いで「訓練や防災訓練の機会」が17.2%、「自治体の広報」が11.2%となっている。

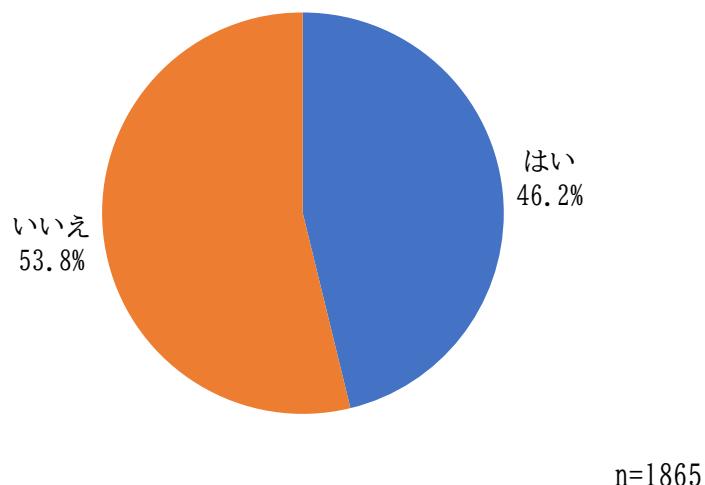


#### 4 感震ブレーカーについて、全員の方にお伺いします。

##### (10)感震ブレーカーについての認知

問 10. 大規模地震時に、自動的に電気を遮断して電気火災の発生を抑制する、「感震ブレーカー」という装置があることをご存じでしたか。(この調査を実施する前の状態でお答えください。) (○は1つ)

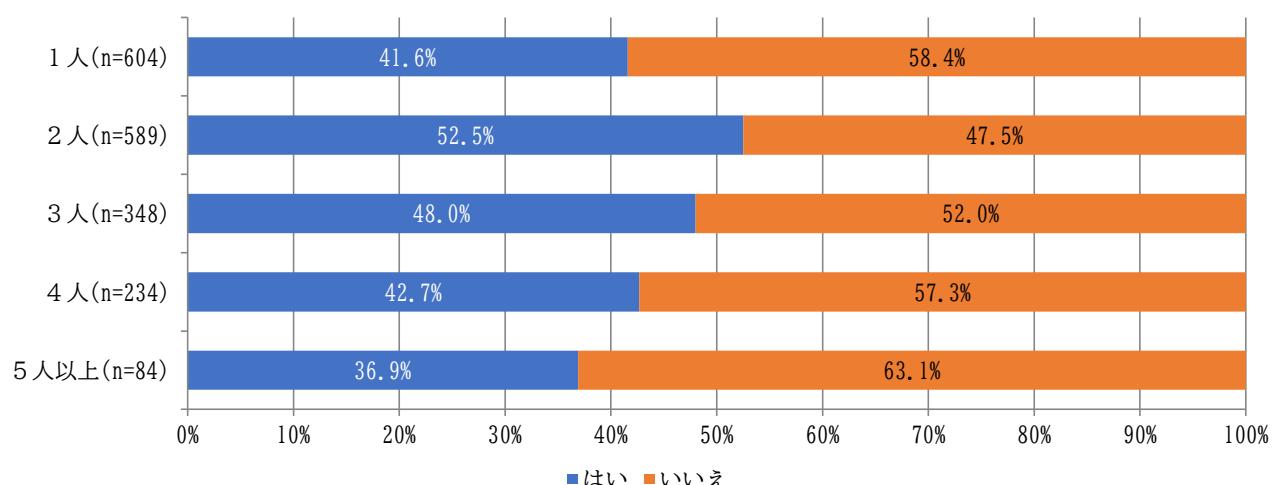
感震ブレーカーの認知について、「はい」が46.2%、「いいえ」が53.8%となっている。



n=1865

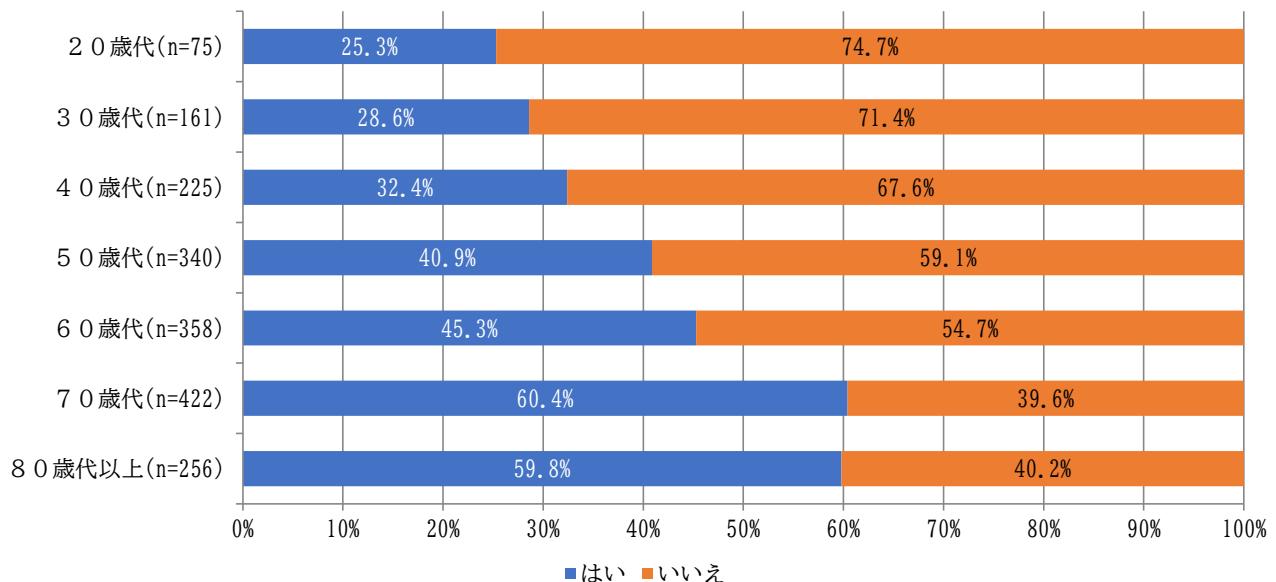
##### 感震ブレーカーについての認知×世帯人数別

世帯人数別にみると、「はい」は「2人」世帯が52.5%と最も高く、「いいえ」は「5人以上」の世帯が63.1%と最も高い。



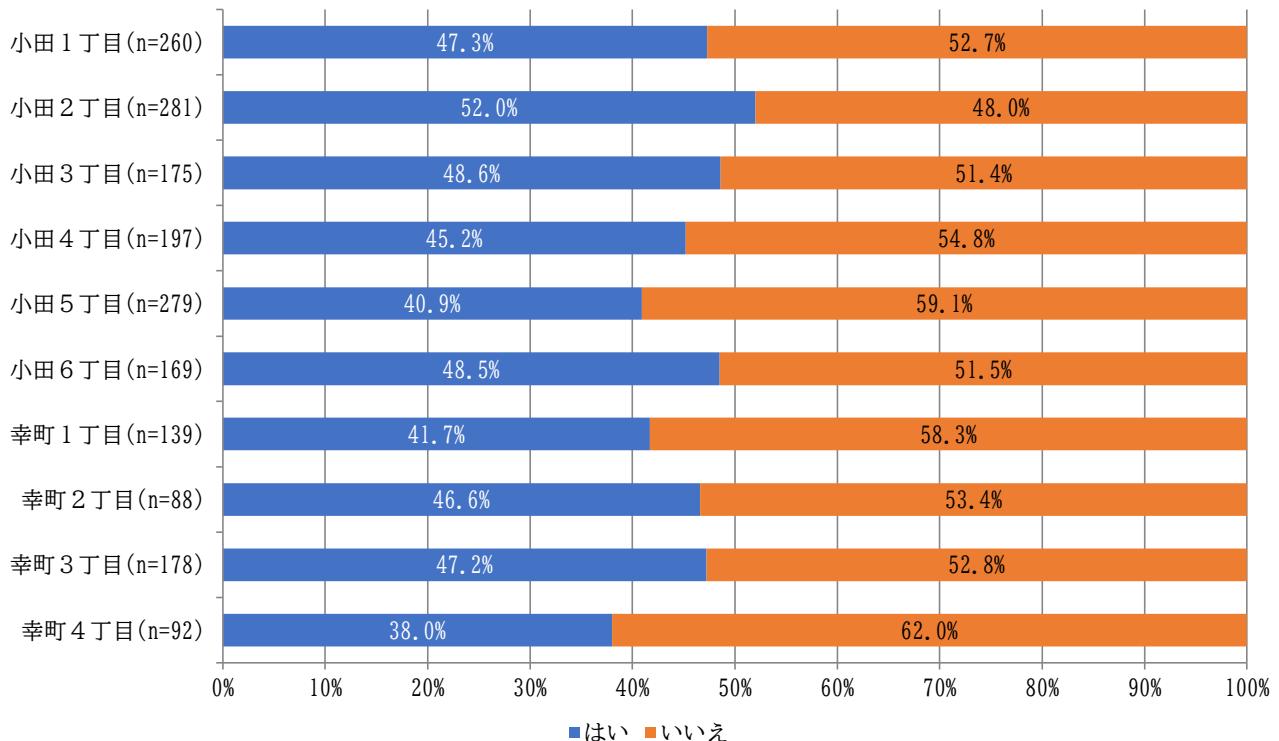
### 感震ブレーカーについての認知×世帯主の年齢別

世帯主の年齢別にみると、年齢が上がっていくほど認知度が高くなっている。



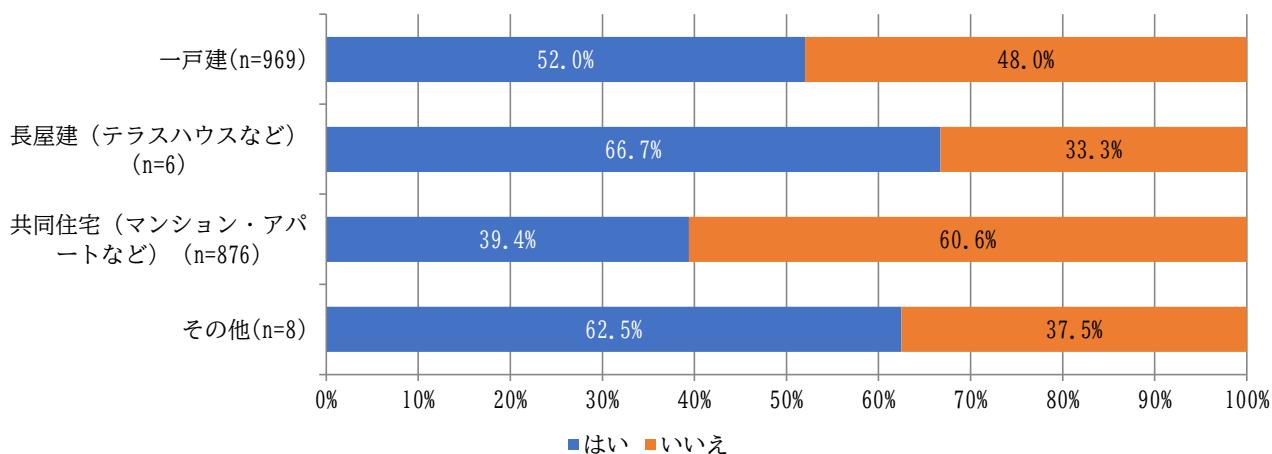
### 感震ブレーカーについての認知×居住地域別

居住地域別にみると、「はい」は、「小田2丁目」が52.0%と最も高く、次いで「小田3丁目」が48.6%、「小田6丁目」が48.5%となっている。



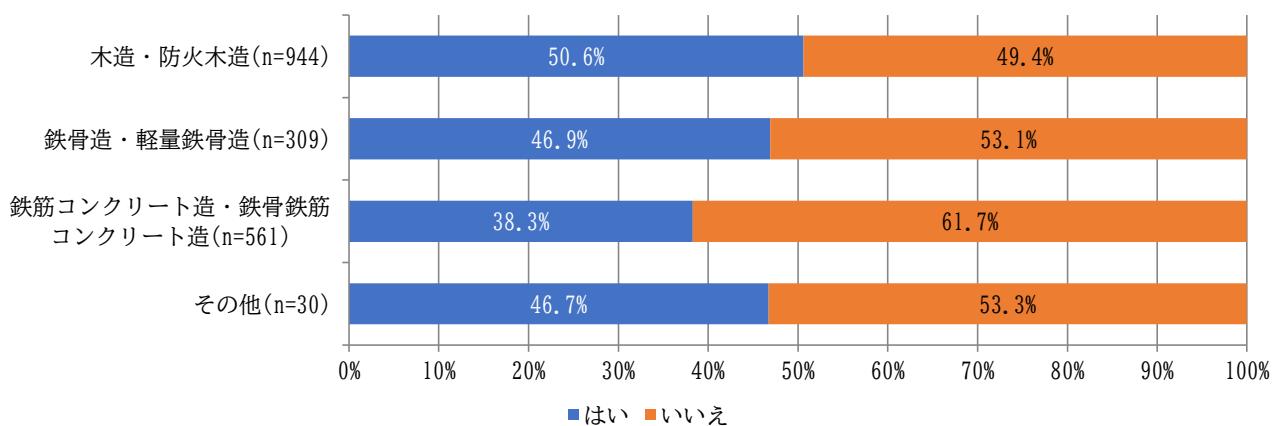
### 感震ブレーカーについての認知×建物種類別

建物の種類別にみると、「はい」は、「長屋建（テラスハウスなど）」の66.7%が最も高くなっている。



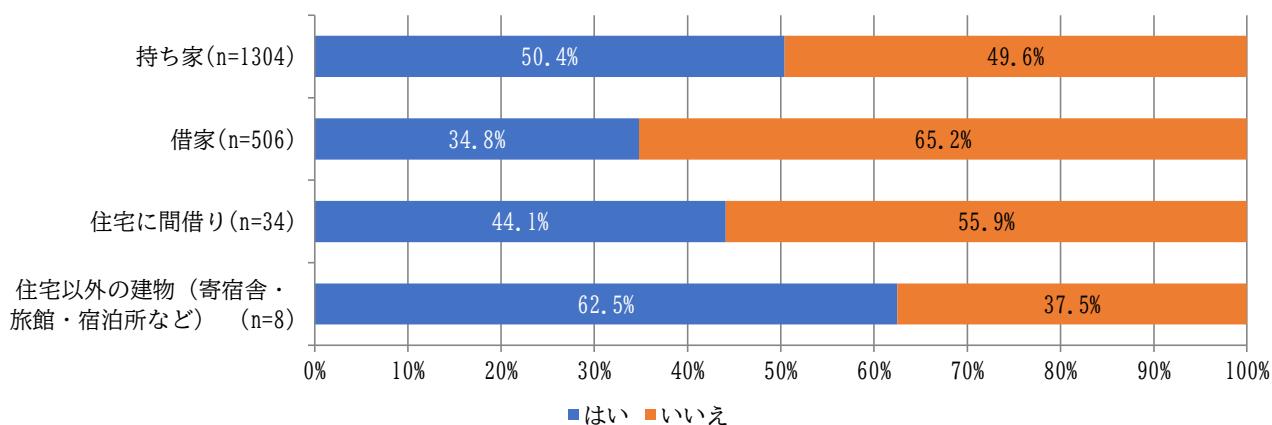
### 感震ブレーカーについての認知×建物構造別

建物の構造別にみると、「はい」は、「木造・防火木造」の50.6%が最も高くなっている。



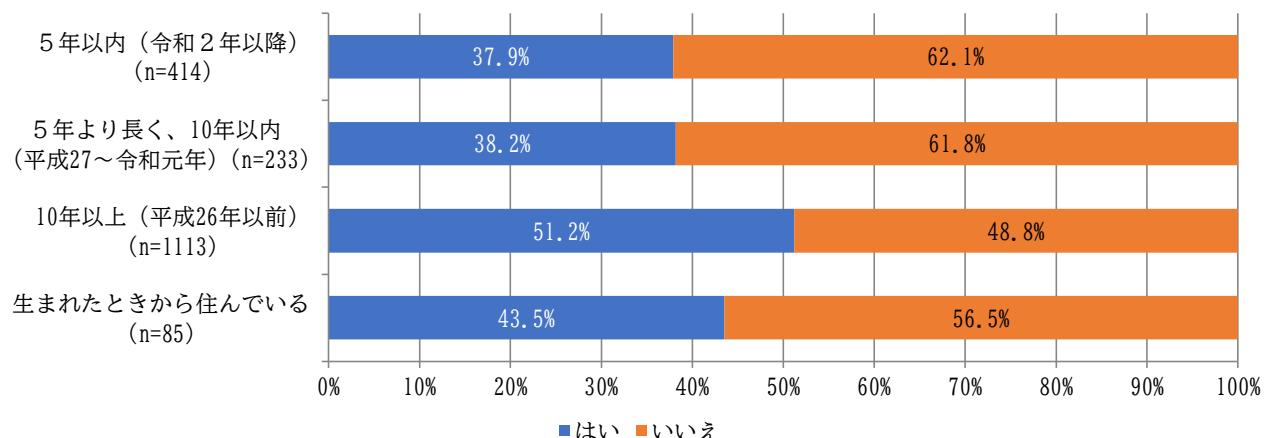
### 感震ブレーカーについての認知×持ち家／借家別

持ち家／借家別にみると、「借家」の認知度が34.8%と低くなっている。



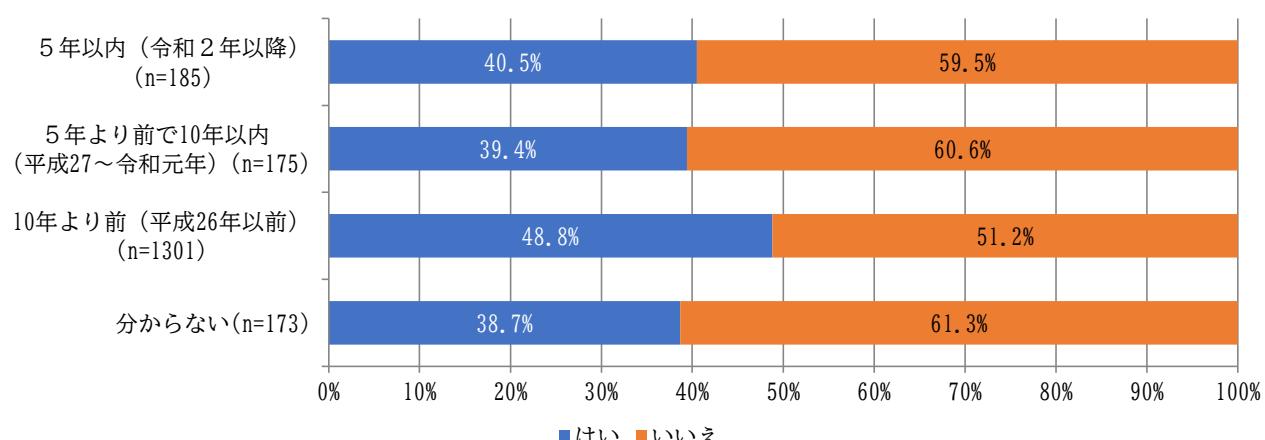
### 感震ブレーカーについての認知×居住期間別

居住期間別にみると、「はい」は、「10年以上（平成26年以前）」の51.2%が最も高くなっている。



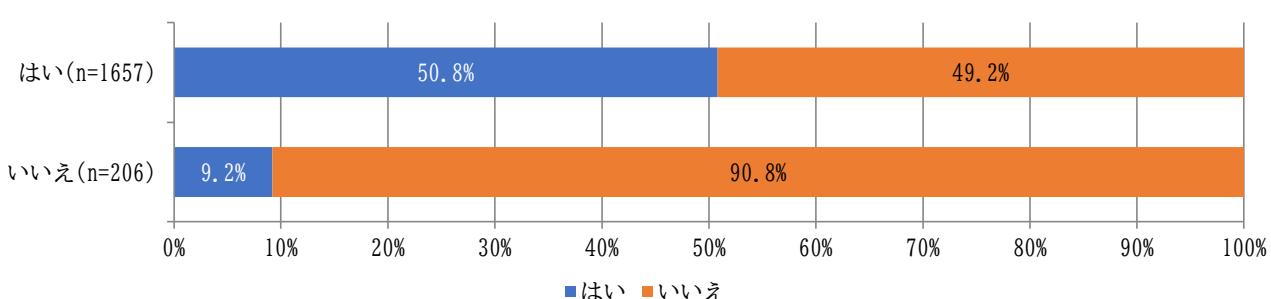
### 感震ブレーカーについての認知×建築時期別

建築時期別にみると、「はい」は、「10年より前（平成26年以前）」の48.8%が最も高くなっている。



### 感震ブレーカーについての認知×地震時の電気火災についての認知別

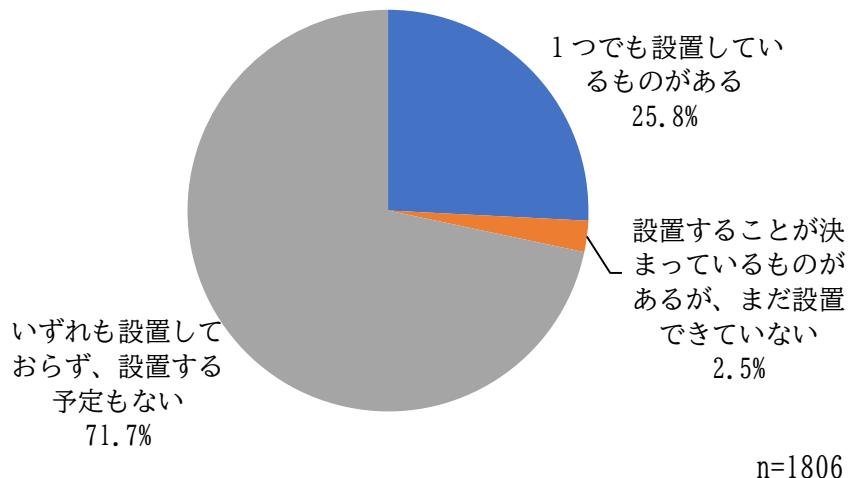
地震時の電気火災について知っている方は、感震ブレーカーについての認知も高くなっている。



## (11)感震ブレーカーの設置状況について

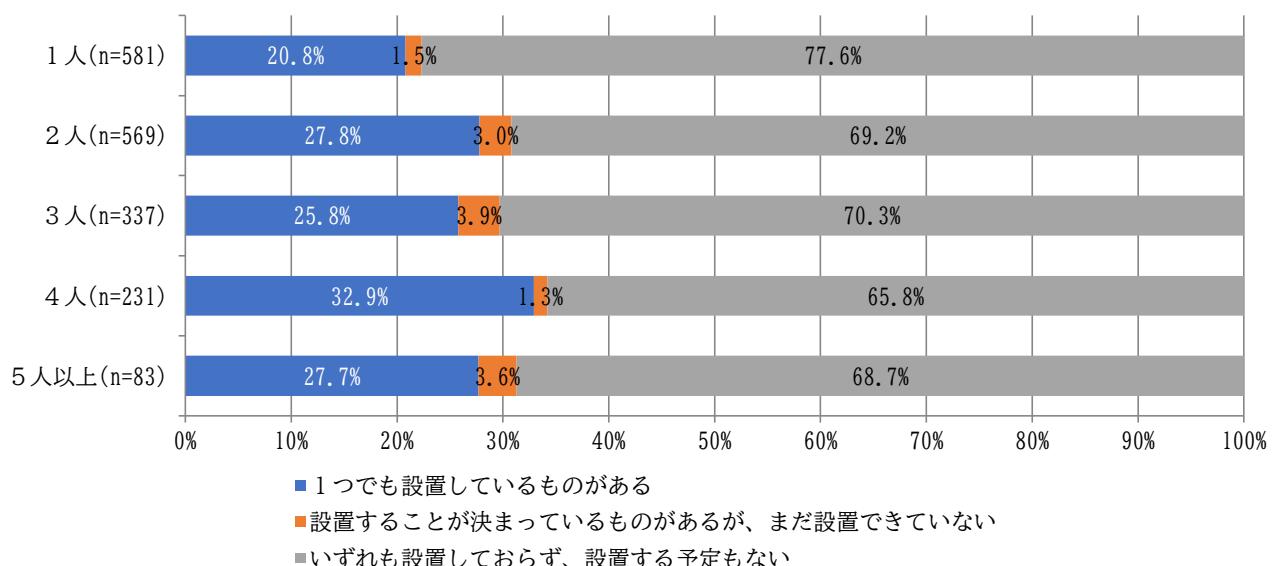
問 11. 現在お住まいの住宅における、感震ブレーカーの設置状況について、当てはまるものをお選びください。(○は1つ)

感震ブレーカーの設置状況について、「1つでも設置しているものがある」が25.8%、「設置することが決まっているものがあるが、まだ設置できていない」が2.5%、「いずれも設置しておらず、設置する予定もない」が71.7%となっている。



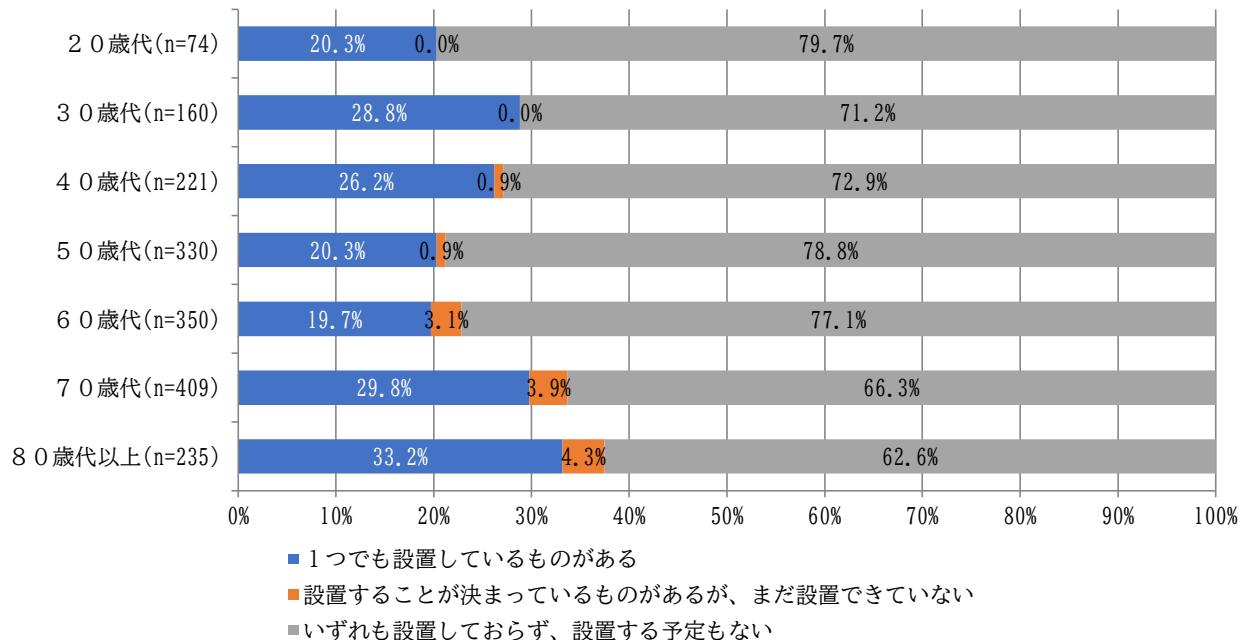
### 感震ブレーカーの設置状況×世帯人数別

世帯人数別にみると、「1つでも設置しているものがある」は「4人」世帯が32.9%と最も高く、「いずれも設置しておらず、設置する予定もない」は「1人」世帯が77.6%と最も高くなっている。



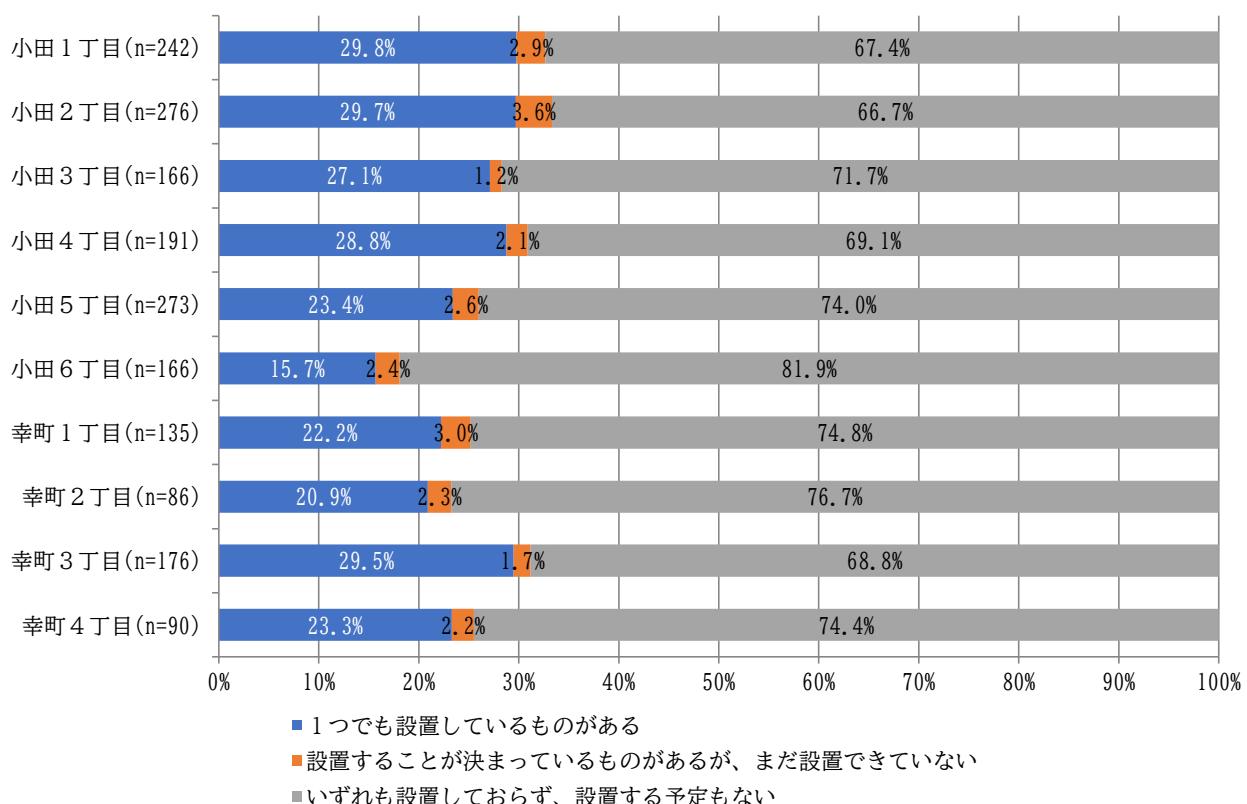
### 感震ブレーカーの設置状況×世帯主の年齢別

世帯主の年齢別にみると、「1つでも設置しているものがある」は「80歳代以上」が33.2%と最も高く、「いずれも設置しておらず、設置する予定もない」は「20歳代」の79.7%が最も高くなっている。



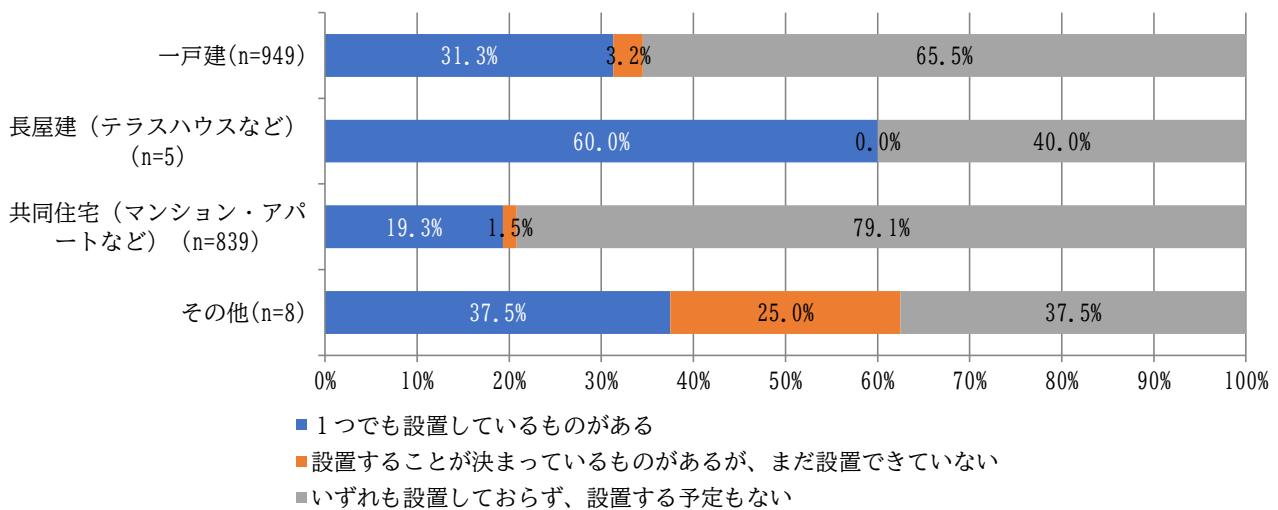
### 感震ブレーカーの設置状況×居住地域別

居住地域別にみると、「小田6丁目」の「いずれも設置しておらず、設置する予定もない」が81.9%と最も高くなっている。



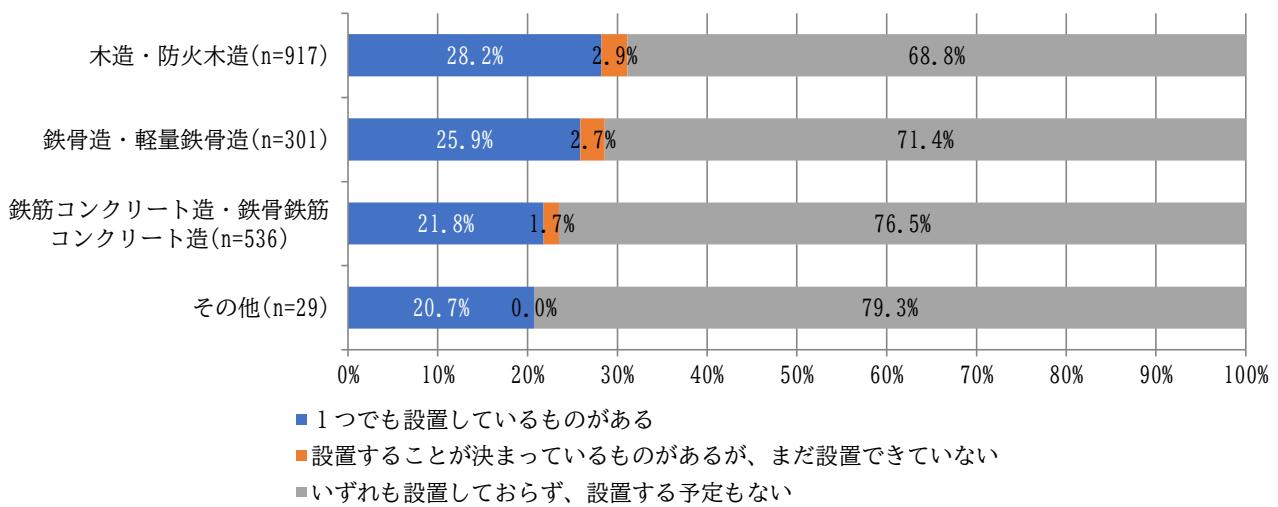
### 感震ブレーカーの設置状況×建物種類別

建物の種類別にみると、「共同住宅（マンション・アパートなど）」の「いずれも設置しておらず、設置する予定もない」が79.1%と最も高くなっている。



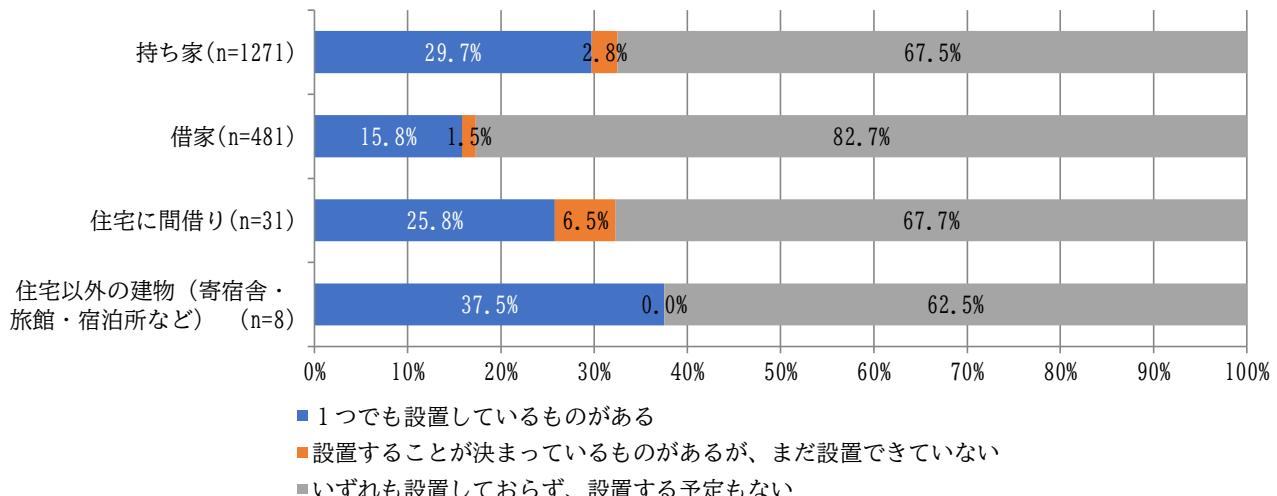
### 感震ブレーカーの設置状況×建物構造別

建物の構造別にみると、「1つでも設置しているものがある」は「木造・防火木造」の28.2%が最も高くなっている。



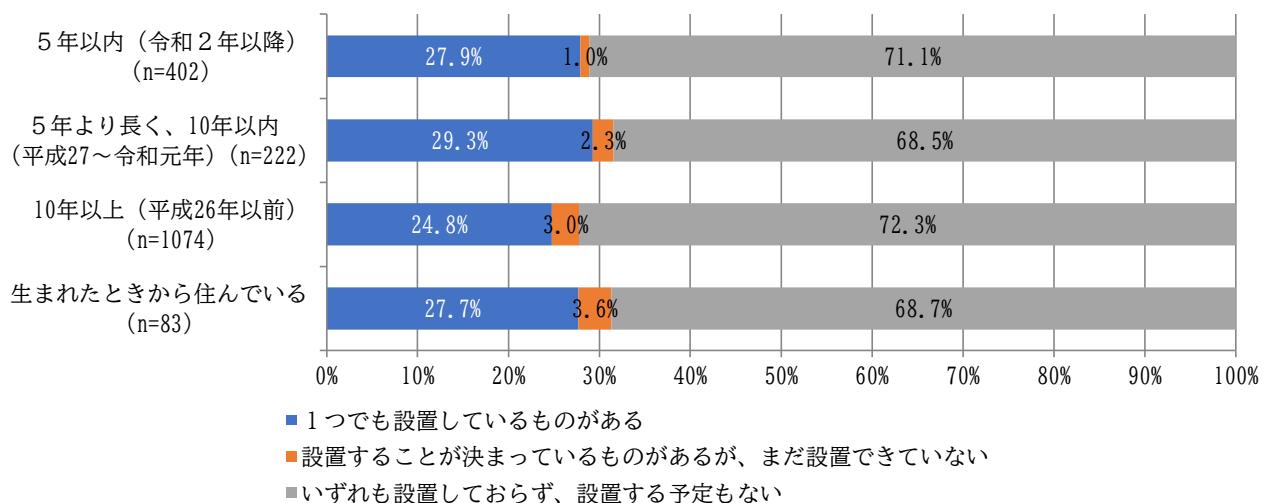
### 感震ブレーカーの設置状況×持ち家／借家別

持ち家／借家別にみると、「1つでも設置しているものがある」は「住宅以外の建物（寄宿舎・旅館・宿泊所など）」が37.5%と最も高く、「いずれも設置しておらず、設置する予定もない」は「借家」の82.7%が最も高くなっている。



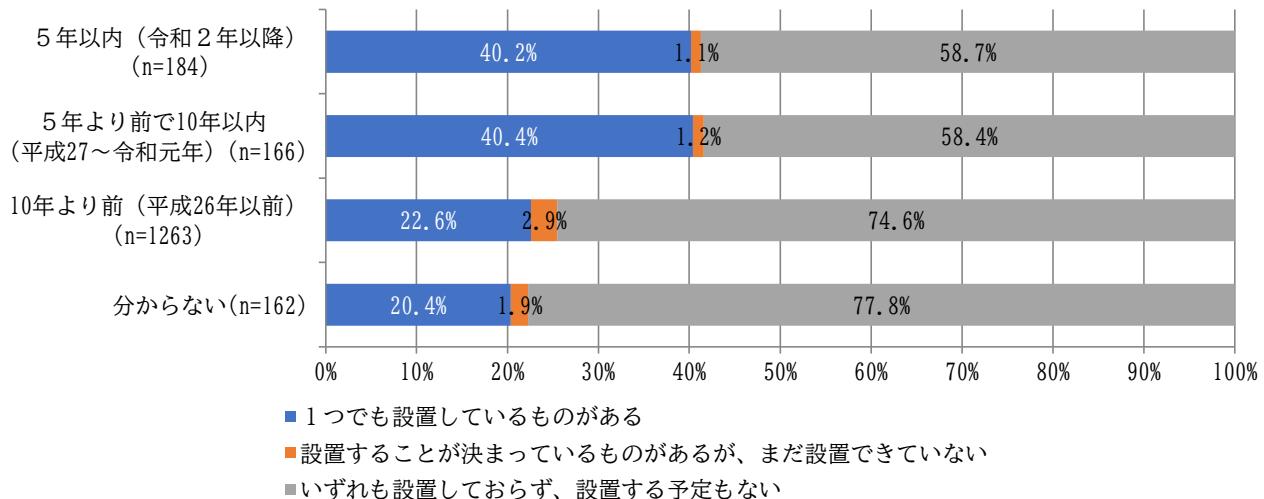
### 感震ブレーカーの設置状況×居住期間別

居住期間別にみると、「1つでも設置しているものがある」は「5年より長く、10年以内（平成27～令和元年）」の29.3%が最も高くなっている。



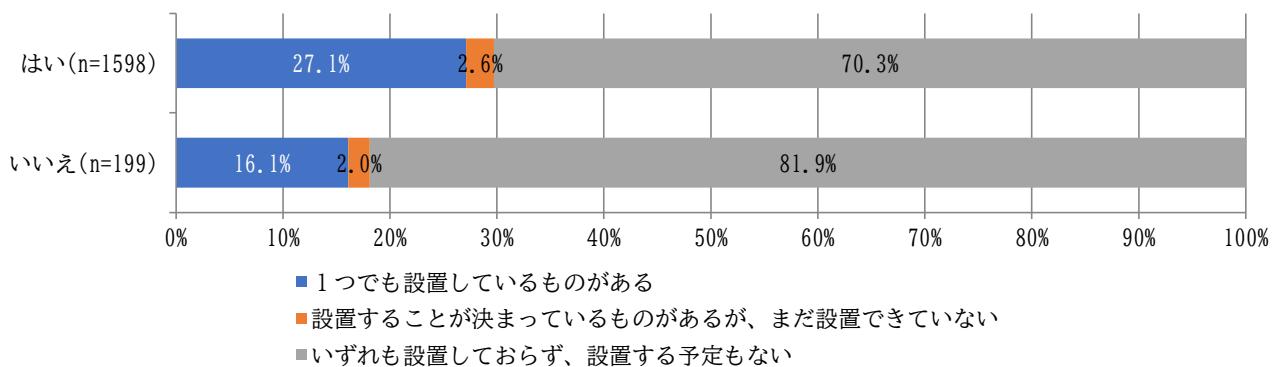
### 感震ブレーカーの設置状況×建築時期別

建築時期別にみると、「1つでも設置しているものがある」は「5年以内(令和2年以降)」が40.2%、「5年より前で10年以内(平成27～令和元年)」が40.4%と、10年以内の建物の設置率が高くなっている。



### 感震ブレーカーの設置状況×地震時の電気火災についての認知別

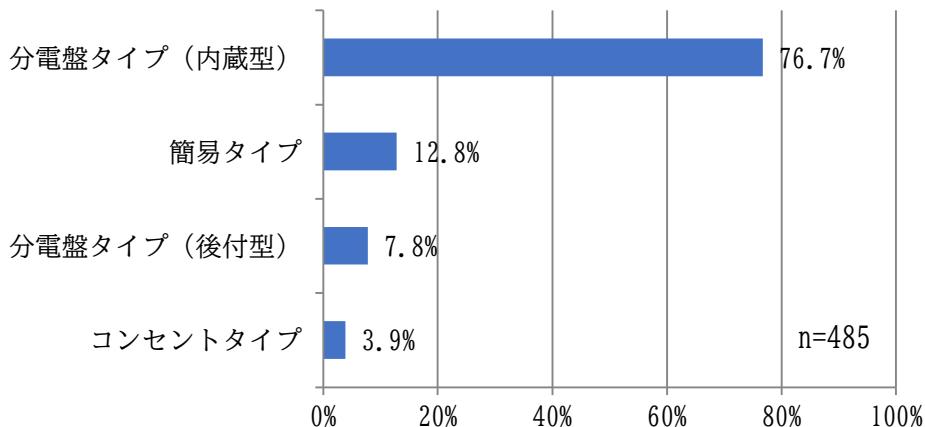
地震時の電気火災についての認知別にみると、「1つでも設置しているものがある」は電気火災について知っている方の方が知らない方よりも11ポイント高くなっている。



## (12)設置している感震ブレーカーの種類

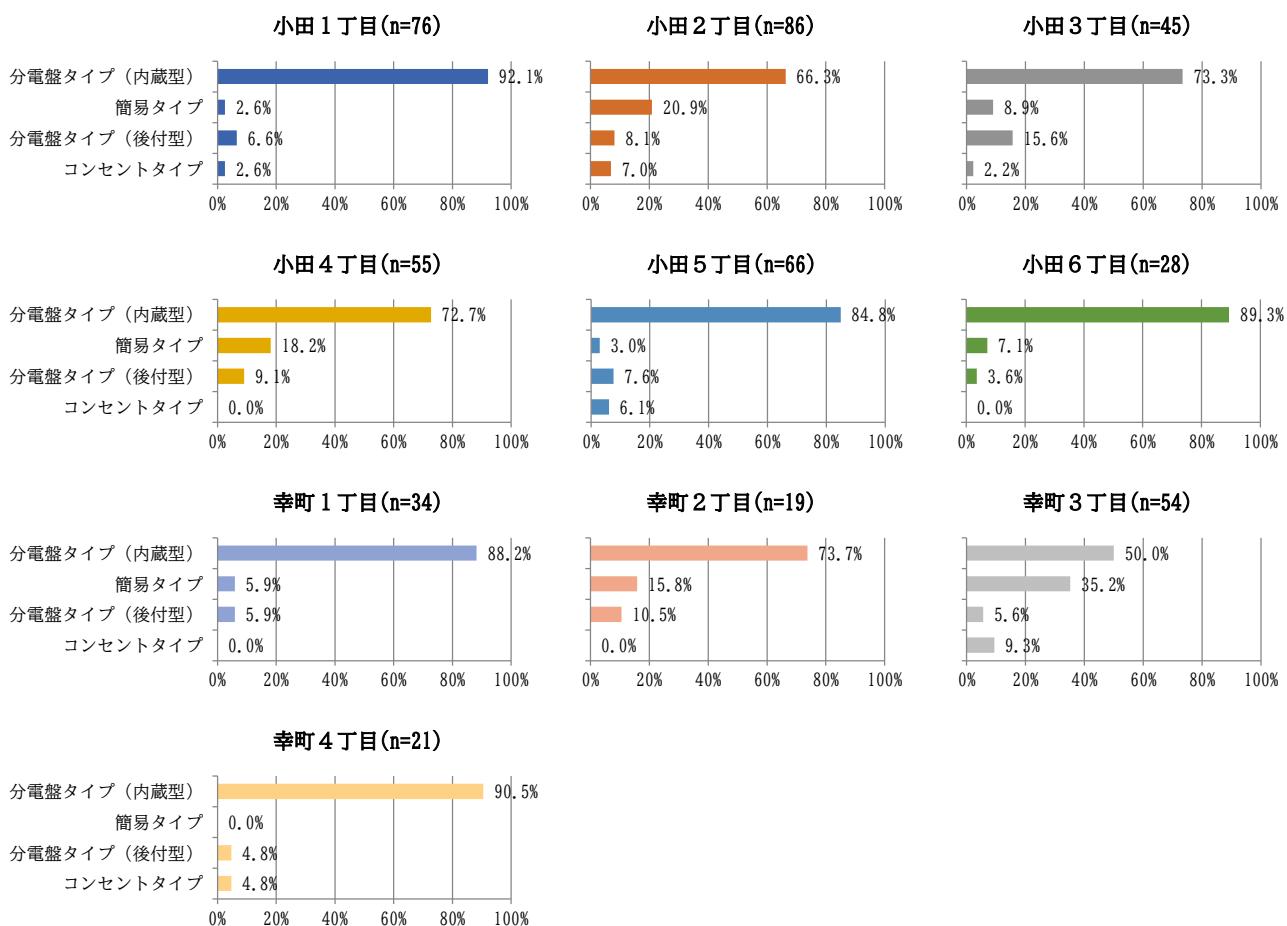
問 12. どのような感震ブレーカーを設置していますか。以下の写真を参考に、当てはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

設置している感震ブレーカーの種類について、「分電盤タイプ（内蔵型）」が76.7%と最も高くなっている。



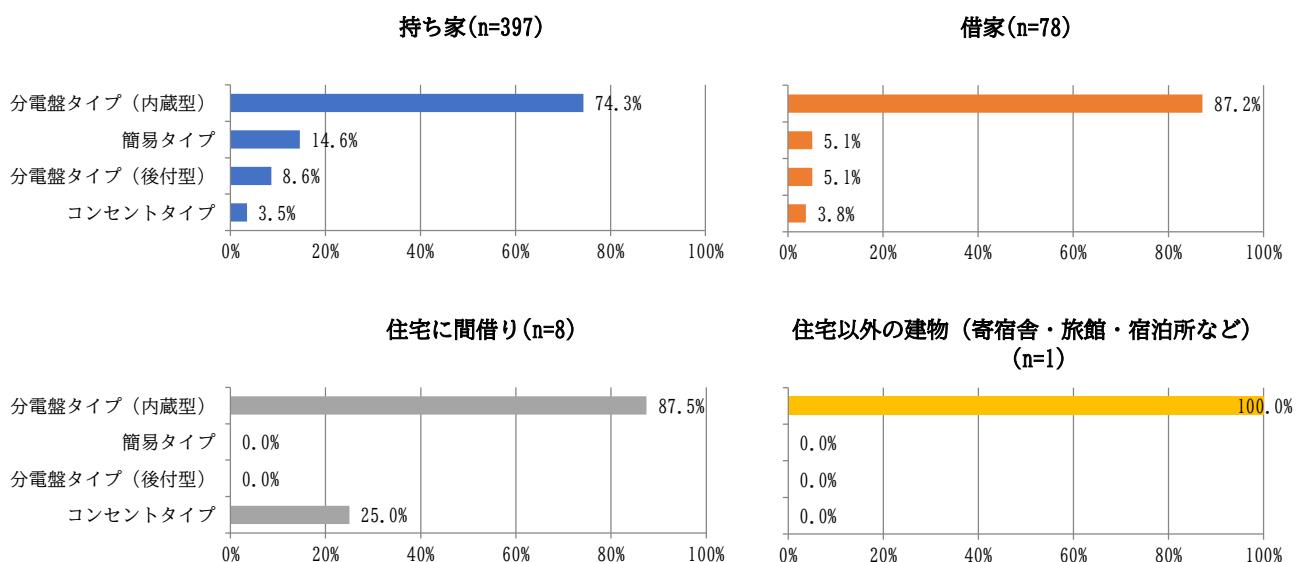
### 設置している感震ブレーカーの種類×居住地域別

居住地域別にみると、すべての地域で「分電盤タイプ（内蔵型）」が多くなっているが、「幸町3丁目」では「簡易タイプ」も多い。



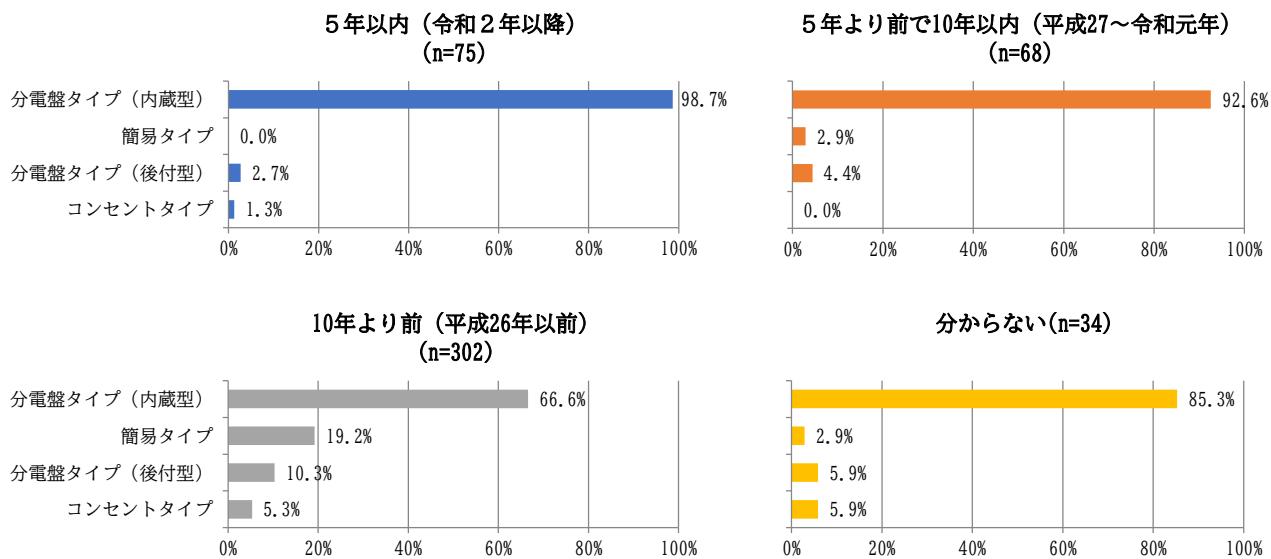
### 設置している感震ブレーカーの種類×持ち家／借家別

持ち家／借家別にみると、持ち家・借家に関係なく「分電盤タイプ（内蔵型）」が最も多くなっている。



### 設置している感震ブレーカーの種類×建築時期別

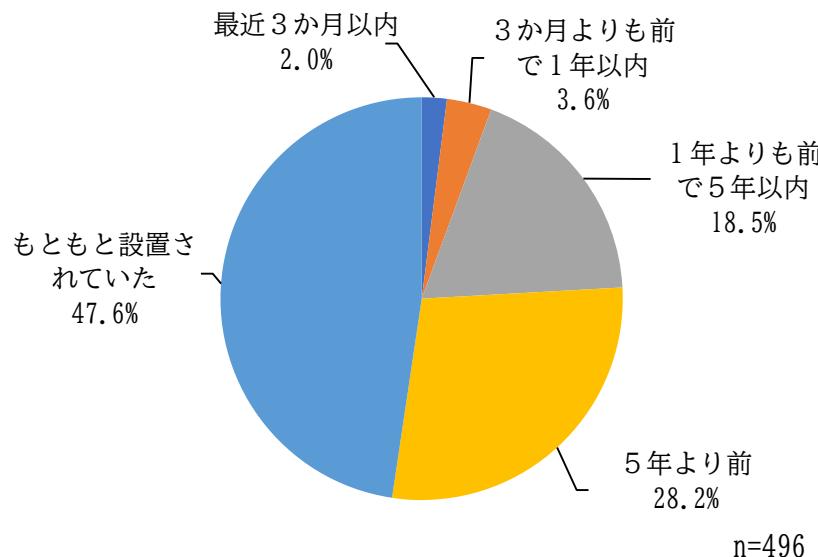
建築時期別にみると、「10年より前（平成26年以前）」では「簡易タイプ」「分電盤タイプ（後付型）」も多くなっている。



### (13)設置、または設置を決めた時期

問 13. 感震ブレーカーを設置、または設置を決めた時期はいつ頃ですか。設置時期が複数ある場合は、最も古い時期をお答えください。(○は1つ)

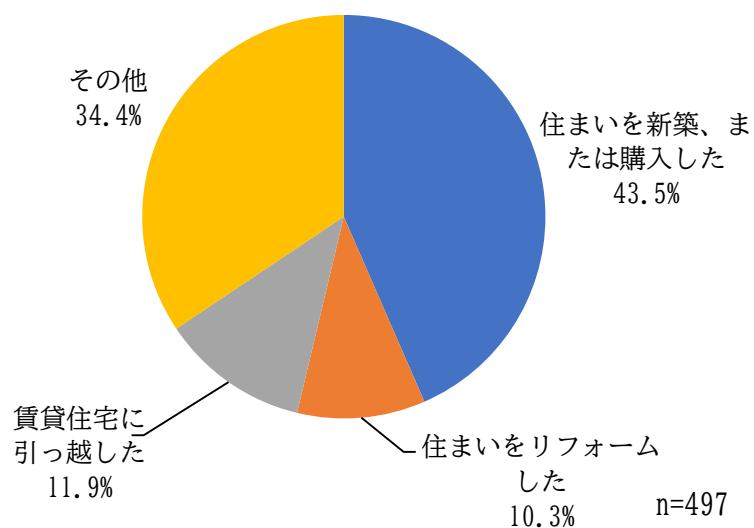
感震ブレーカーを設置、または設置を決めた時期については、「もともと設置されていた」が47.6%と最も高く、次いで「5年より前」が28.2%となっている。



### (14)設置、または設置を決めたタイミング

問 14. 感震ブレーカーを設置、または設置を決めたのは、どのようなタイミングでしたか。(○は1つ)

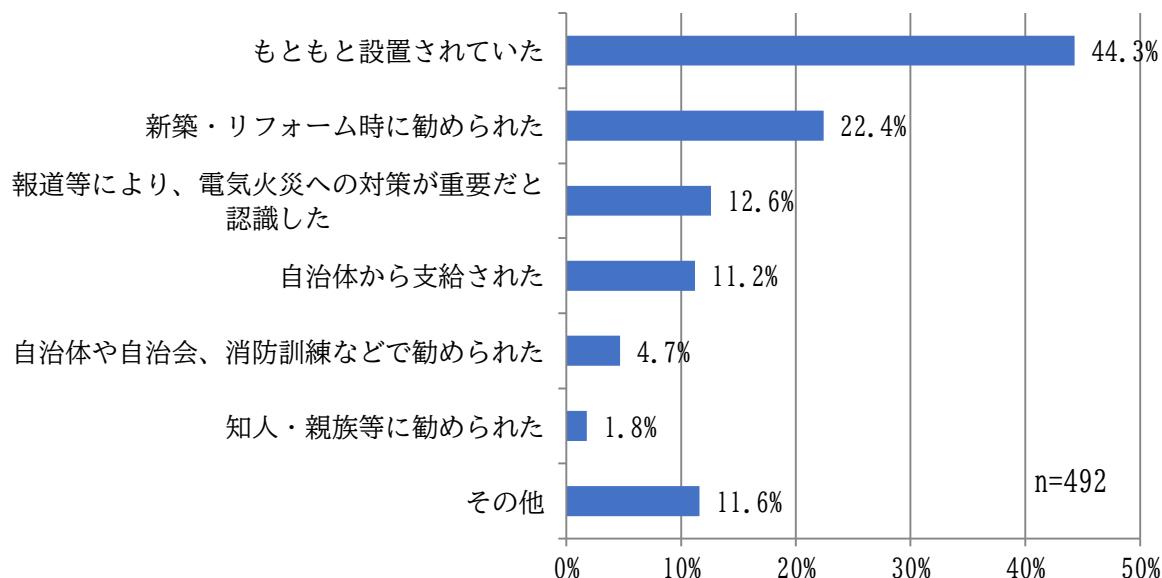
感震ブレーカーの設置、または設置を決めたタイミングについては、「住まいを新築、または購入した」が43.5%と高くなっている。



## (15)感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけ

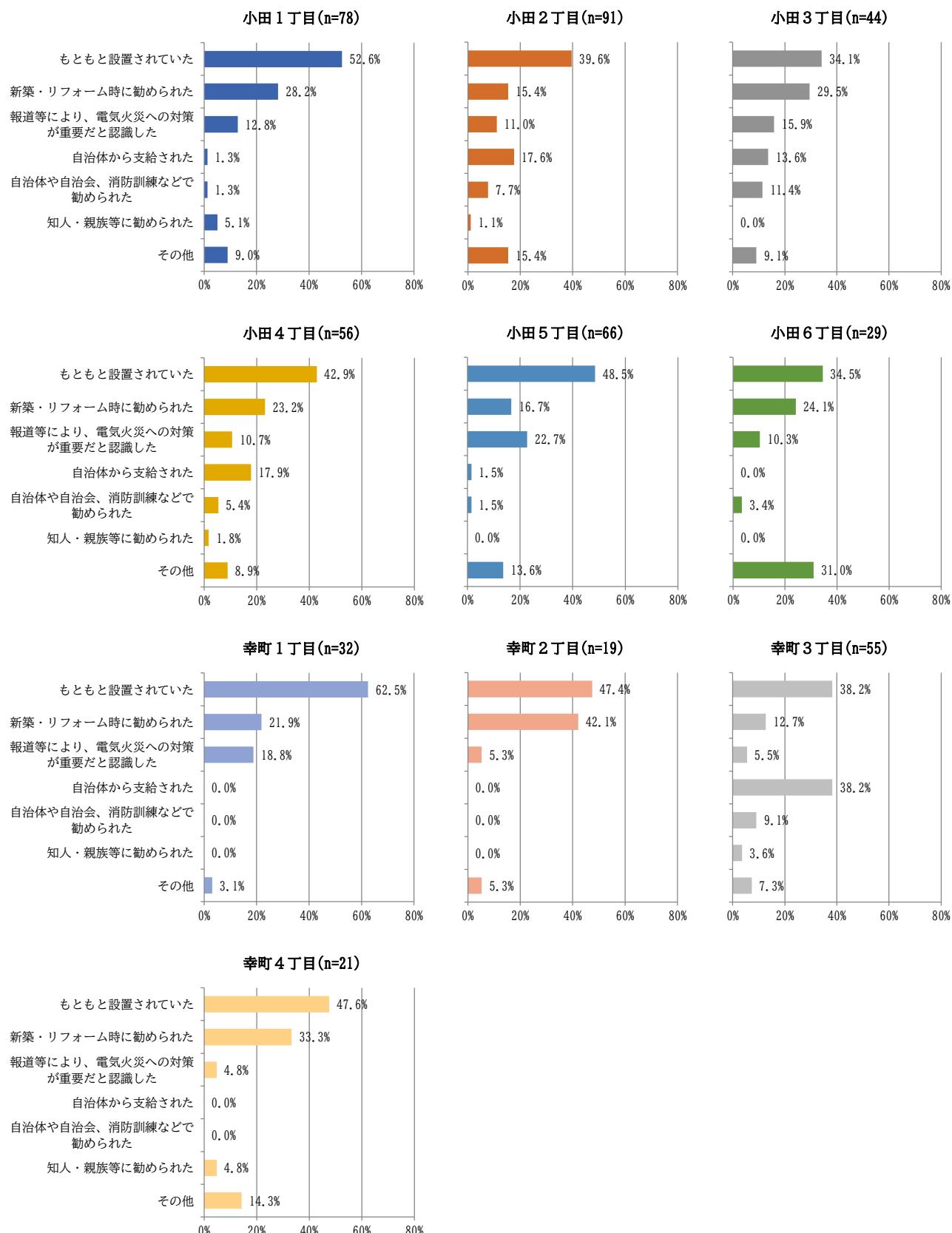
問 15. 現在お住まいの住宅に感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけについて、当てはまるものを、すべてお選びください。(○はいくつでも)

感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけについて、「もともと設置されていた」が44.3%と最も高く、次いで「新築・リフォーム時に勧められた」が22.4%となっている。



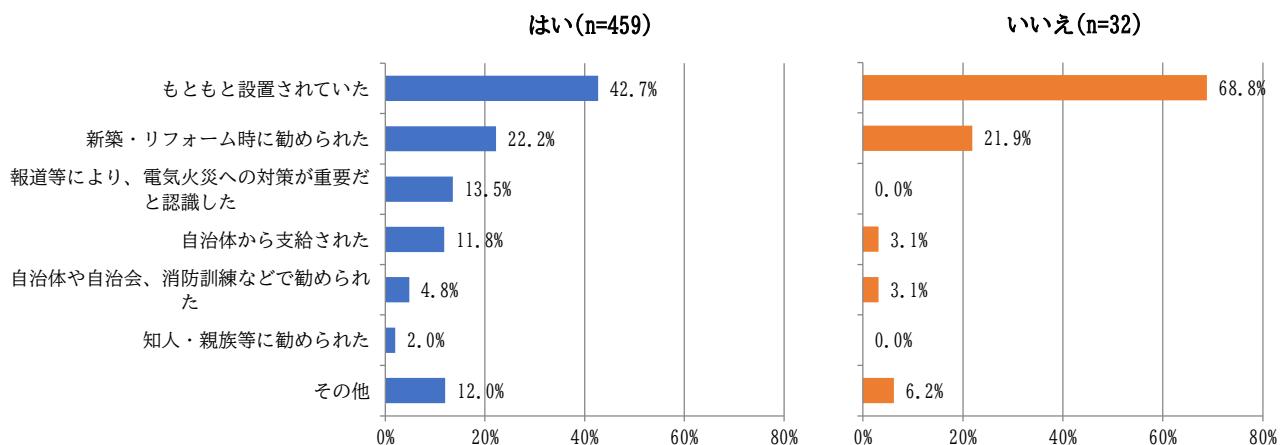
## 感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけ×居住地域別

居住地域別にみると、「もともと設置されていた」はすべての地域で最も多いが、「幸町3丁目」では「自治体から支給された」も同数で多くなっている。



## 感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけ×地震時の電気火災についての認知別

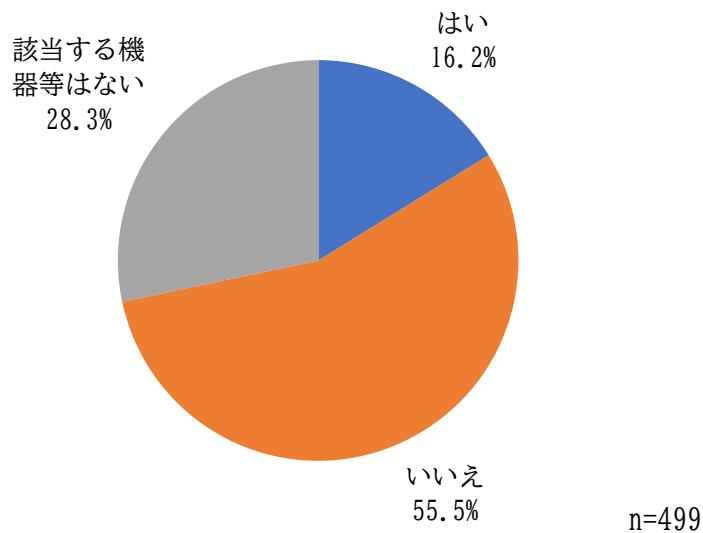
地震時の電気火災についての認知別でみると、電気火災について知らない方は「報道等により、電気火災への対策が重要だと認識した」と回答した人がいなかった。



## (16)バッテリーや非常用電源の備え

問 16. 停電時の備えとして、電気が遮断すると支障のある機器（生命の維持に直結する医療用機器やコンピュータのサーバー等）のために、バッテリーや非常用電源を備えていますか。（○は1つ）

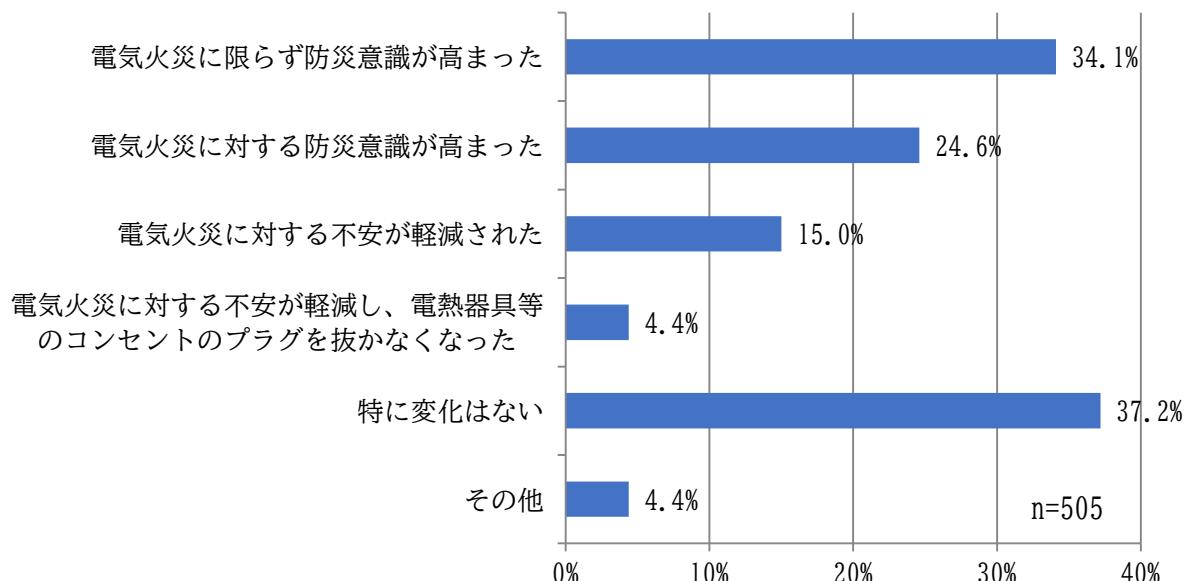
停電時のためのバッテリーや非常電源の備えについて、「いいえ」が 55.5%と最も高く、次いで「該当する機器等はない」が 28.3%、「はい」は 16.2%となっている。



## (17)感震ブレーカーの設置を考える前と現在とで、防災に対する意識や行動の変化について

問 17. 感震ブレーカーの設置を考える前と現在とで、防災に対する意識や行動の変化について当てはまるものをお選びください。（○はいくつでも）

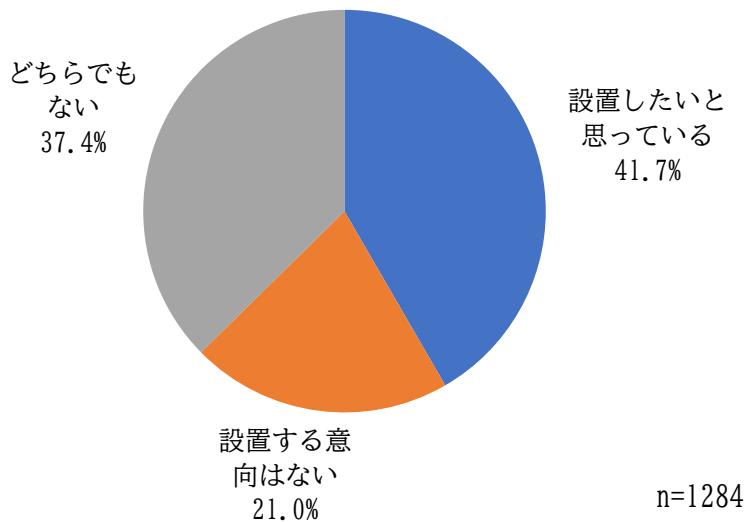
感震ブレーカーの設置を考える前と現在とで、防災に対する意識や行動の変化について、「電気火災に限らず防災意識が高まった」が 34.1%と高く、次いで「電気火災に対する防災意識が高まった」が 24.6%となっている。また、37.2%は「特に変化はない」と回答している。



## (18)感震ブレーカーの設置意向

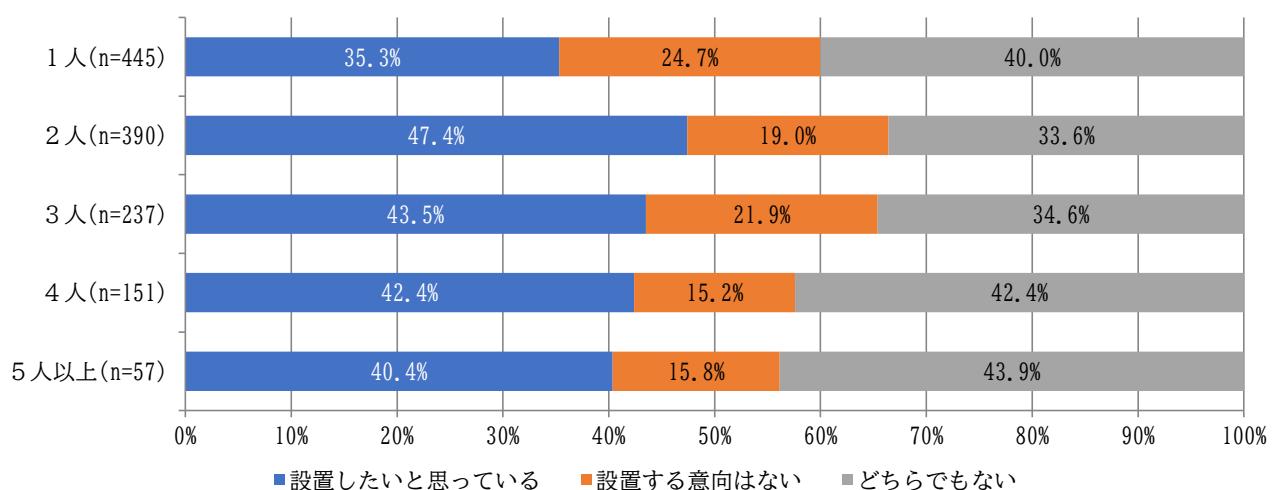
問18. 現在お住まいの住宅に感震ブレーカーを設置する意向はありますか。(○は1つ)

感震ブレーカーを設置する意向について、「設置したいと思っている」が41.7%、「設置する意向はない」が21.0%となっている。



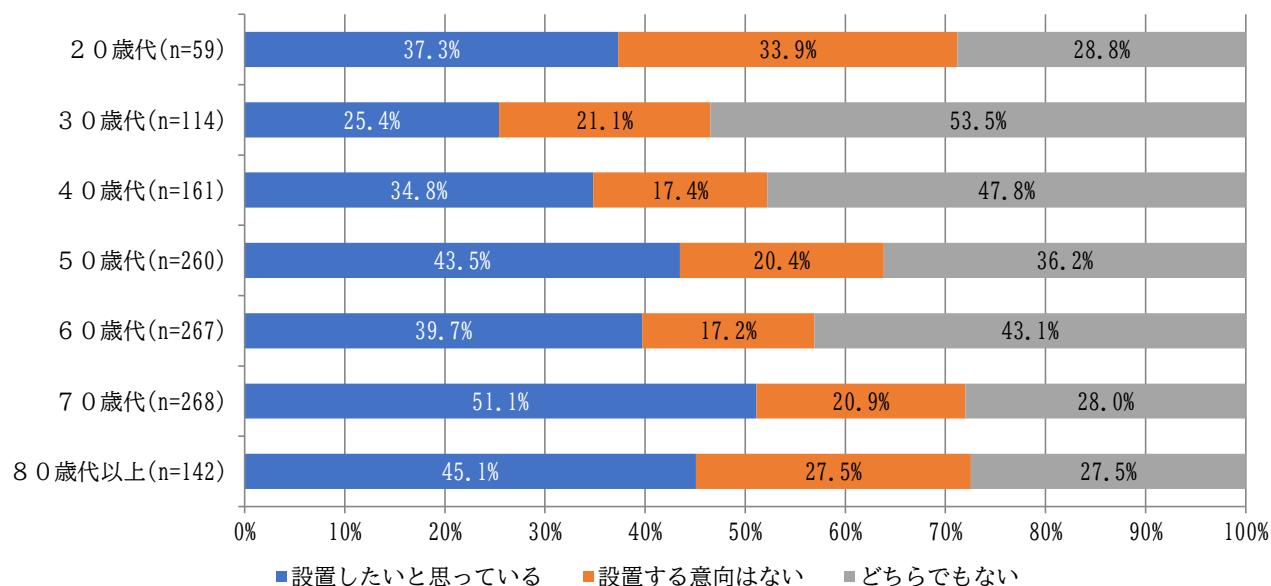
### 感震ブレーカーの設置意向×世帯人数別

世帯人数別にみると、「設置したいと思っている」は「2人」世帯が47.4%と最も高くなっている。「設置する意向はない」は「1人」世帯が24.7%と最も高い。



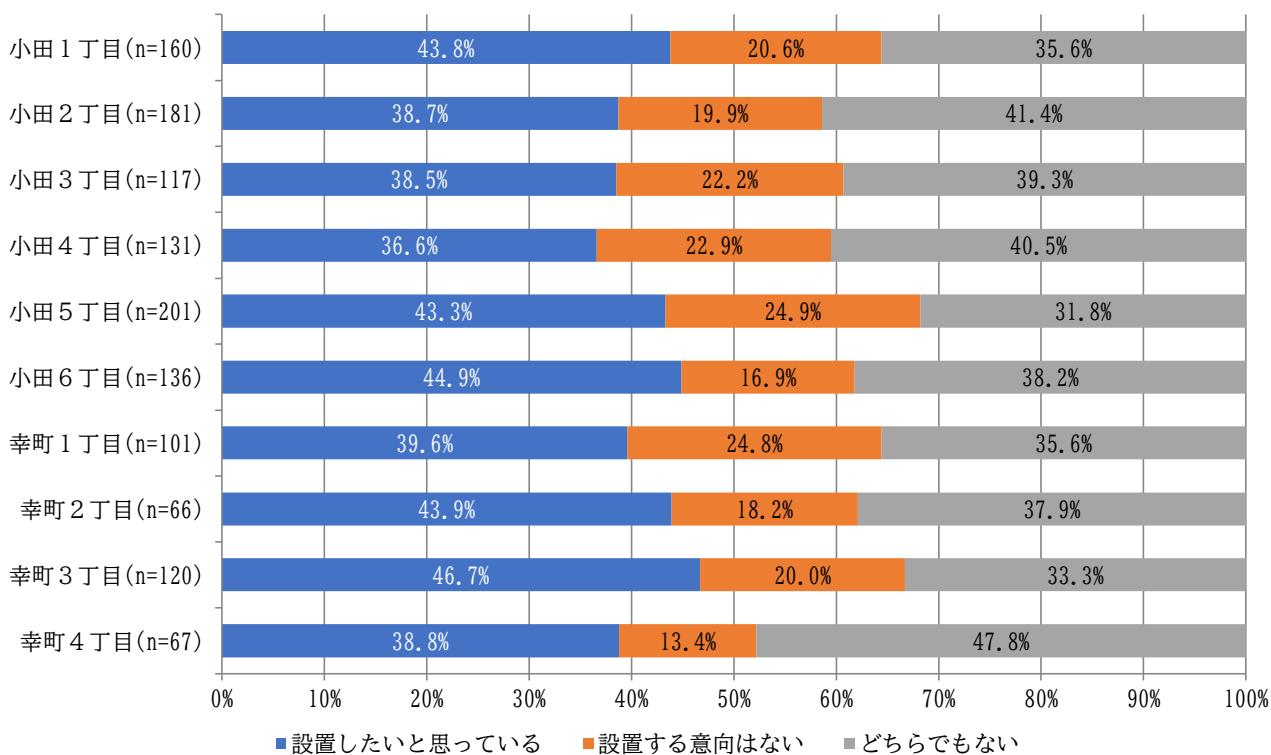
### 感震ブレーカーの設置意向×世帯主の年齢別

世帯主の年齢別にみると、「設置したいと思っている」は「70歳代」が51.1%と最も高い。「設置する意向はない」は「20歳代」の33.9%が最も高くなっている。



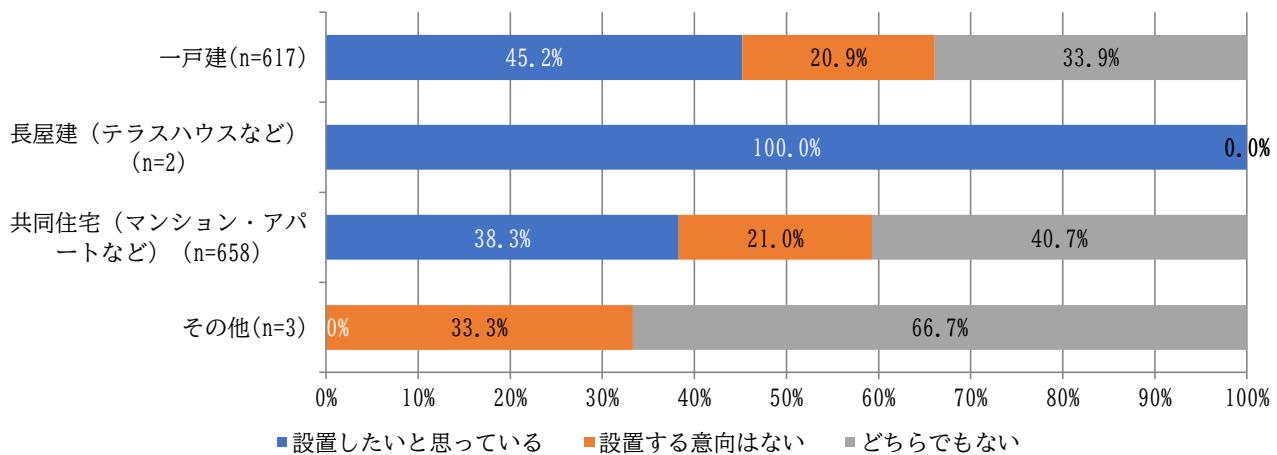
### 感震ブレーカーの設置意向×居住地域別

居住地域別にみると、「設置したいと思っている」は「幸町3丁目」が46.7%と最も高い。「設置する意向はない」は「小田5丁目」(24.9%)と「幸町1丁目」(24.8%)が高くなっている。



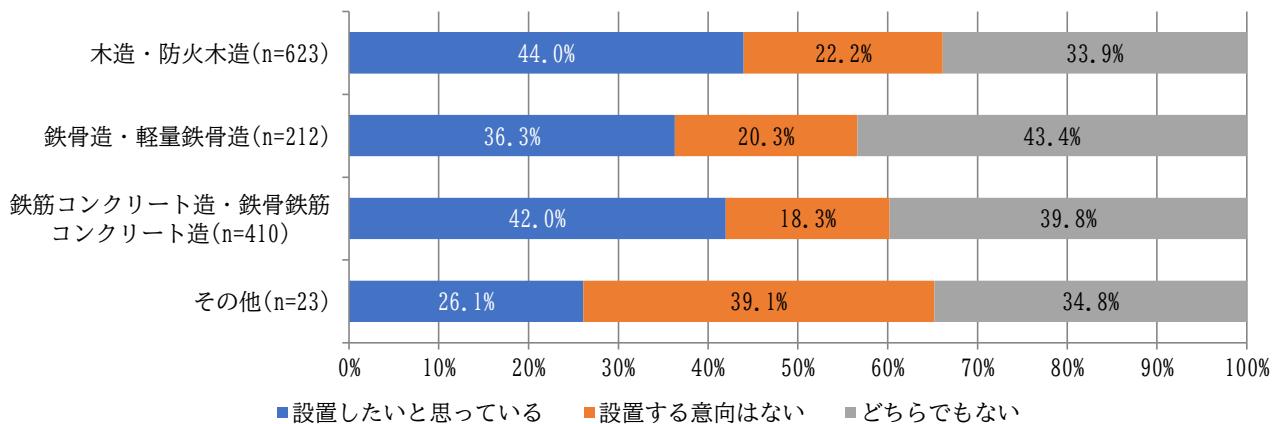
### 感震ブレーカーの設置意向×建物種類別

建物の種類別にみると、「設置したいと思っている」は「一戸建」が45.2%、「共同住宅（マンション・アパートなど）」が38.3%となっている。（※回答数の少ない長屋建（テラスハウスなど）を除く）



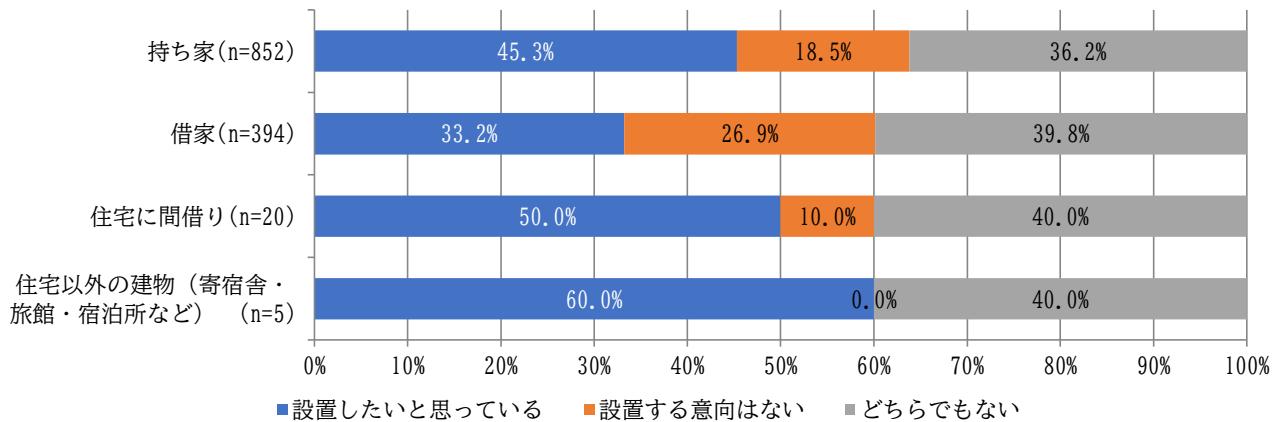
### 感震ブレーカーの設置意向×建物構造別

建物の構造別にみると、「設置したいと思っている」は「木造・防火木造」が44.0%、「鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造」が42.0%、「鉄骨造・軽量鉄骨造」が36.3%となっている。



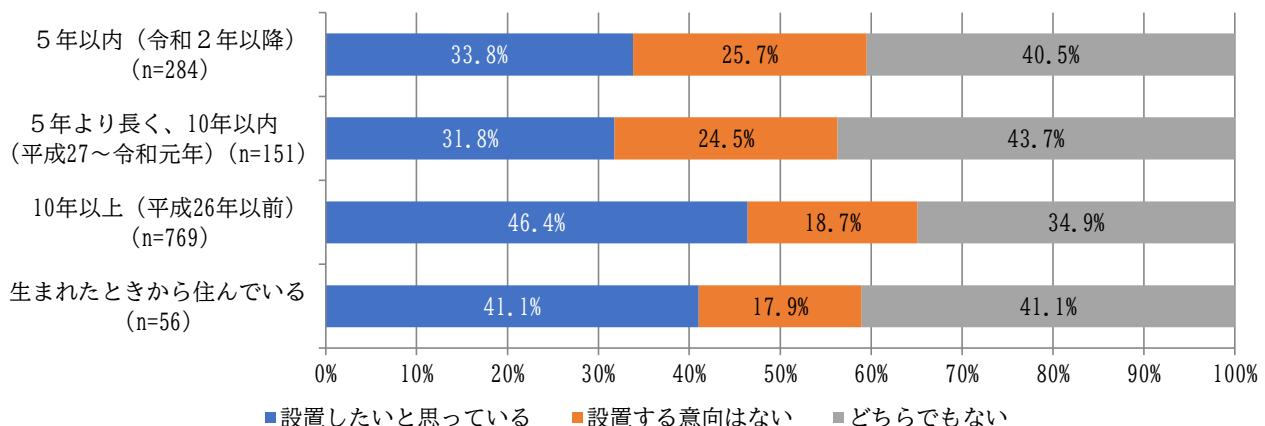
### 感震ブレーカーの設置意向×持ち家／借家別

持ち家／借家別にみると、「持ち家」では45.3%の方が「設置したいと思っている」と回答する一方、「設置する意向はない」が18.5%となっている。また、「借家」では「設置する意向はない」が26.9%と高いが、「設置したいと思っている」が33.2%と3割以上となっている。



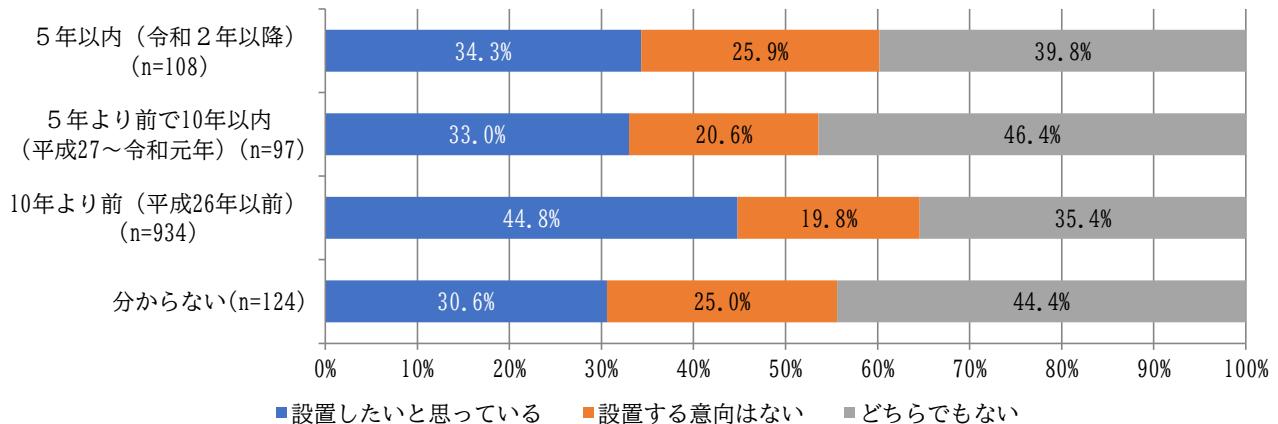
### 感震ブレーカーの設置意向×居住期間別

居住期間別にみると、「設置したいと思っている」は「10年以上（平成26年以前）」が46.4%と最も高くなっている。



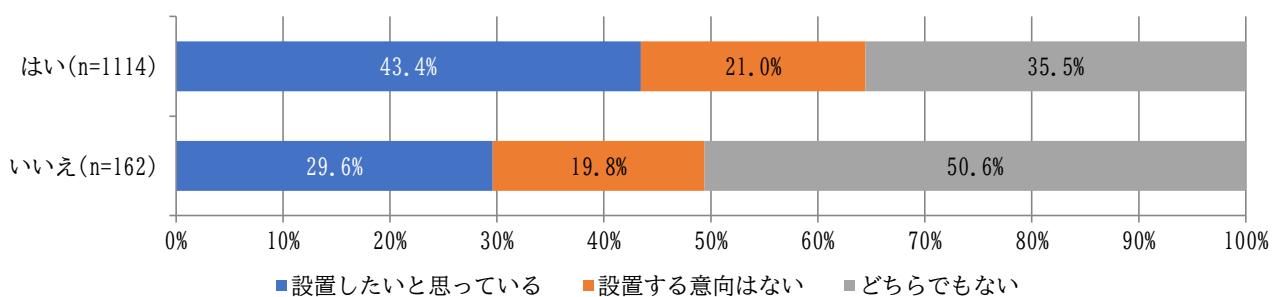
### 感震ブレーカーの設置意向×建築時期別

建築期間別にみると、「設置したいと思っている」は「10年より前（平成26年以前）」が44.8%と最も高くなっている。



### 感震ブレーカーの設置意向×地震時の電気火災についての認知別

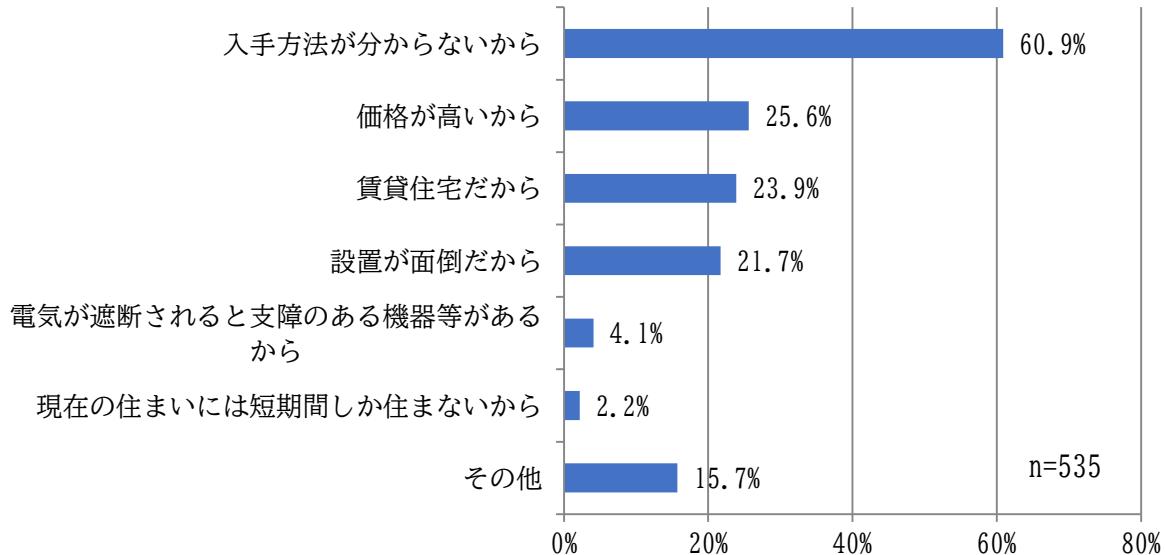
地震時の電気火災についての認知別にみると、電気火災について知っている方の43.4%は「設置したいと思っている」が、21.0%の方は「設置する意向はない」と回答している。



## (18-1)感震ブレーカーの設置に至っていない理由

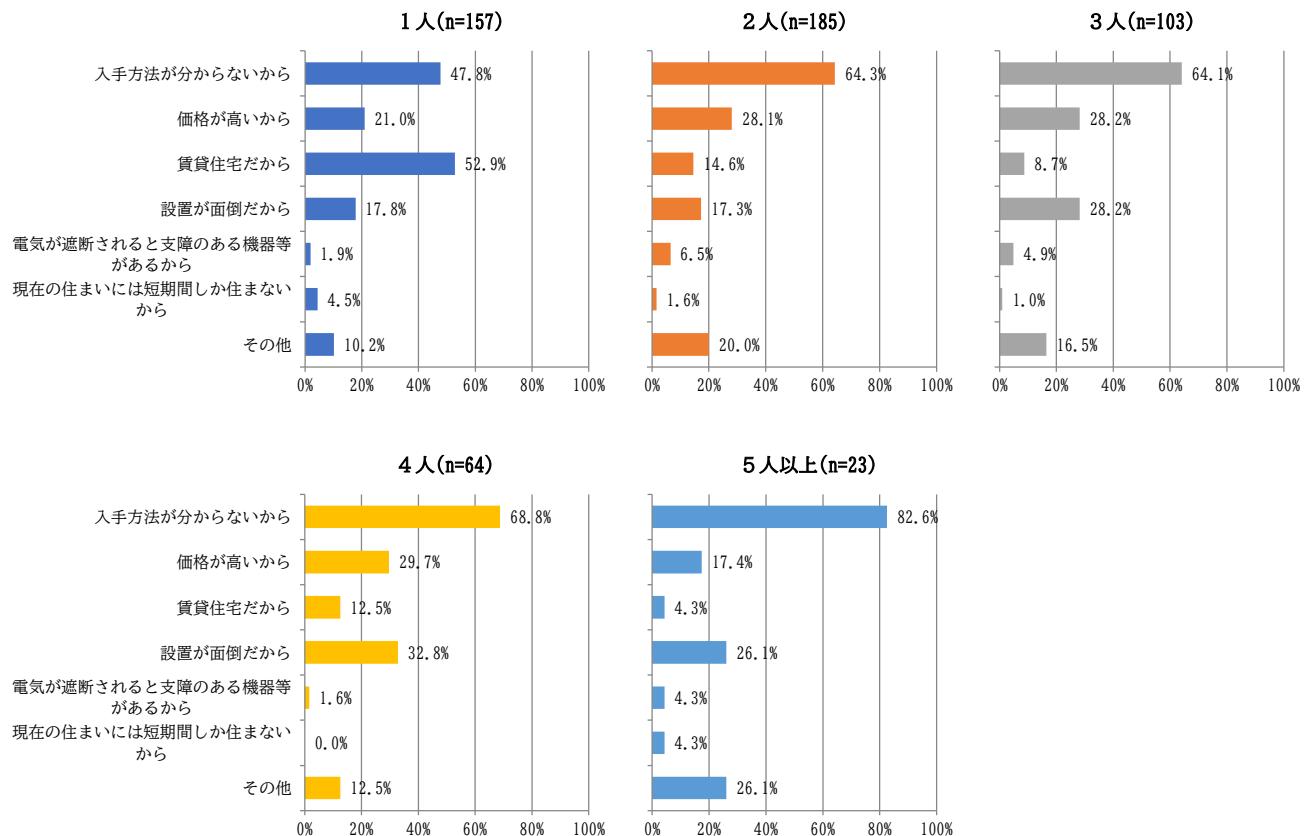
問 18-1. 感震ブレーカーの設置に至っていない理由について、当てはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

感震ブレーカーの設置に至っていない理由については、「入手方法が分からなから」が 60.9%と最も高く、次いで「価格が高いから」が 25.6%、「賃貸住宅だから」が 23.9%となっている。



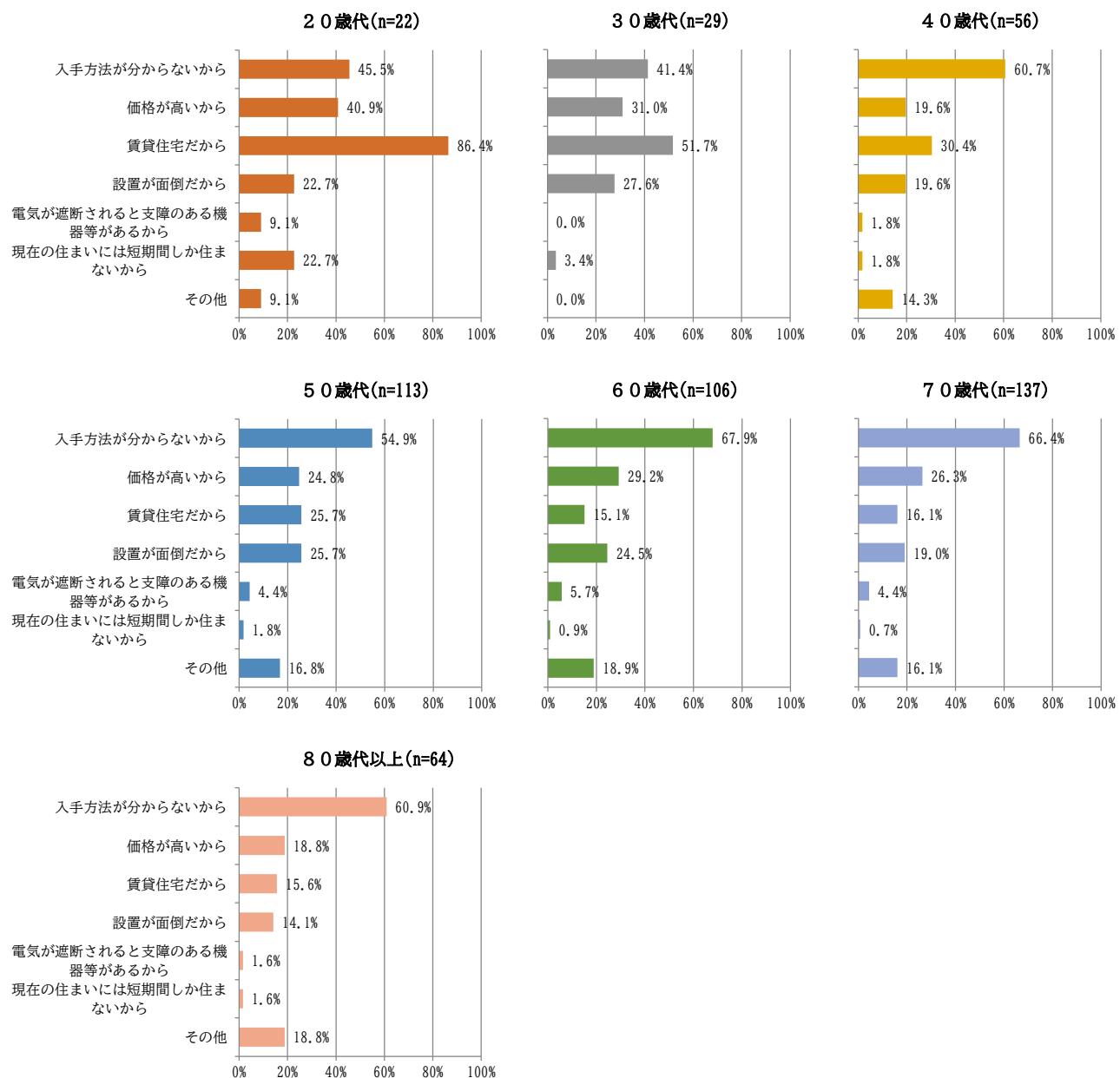
## 感震ブレーカーの設置に至っていない理由×世帯人数別

世帯人数別にみると、「1人」世帯以外では「入手方法が分からぬから」が最も多い理由だが、「1人」世帯では「賃貸住宅だから」が最も多くなっている。



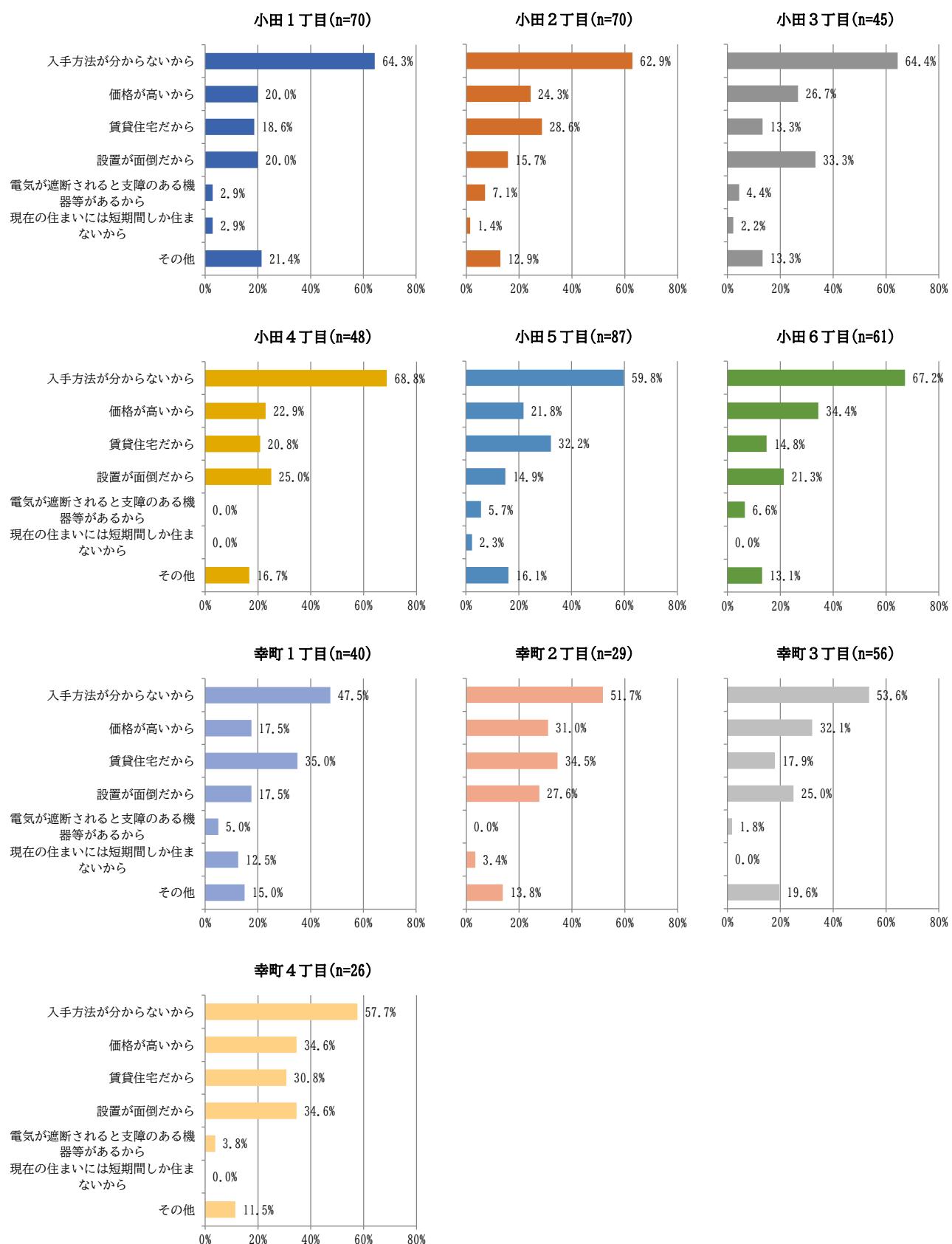
## 感震ブレーカーの設置に至っていない理由×世帯主の年齢別

世帯主の年齢別にみると、40歳代以上で「入手方法が分からないから」が最も多くなっているが、「20歳代」と「30歳代」では「賃貸住宅だから」が最も多い。



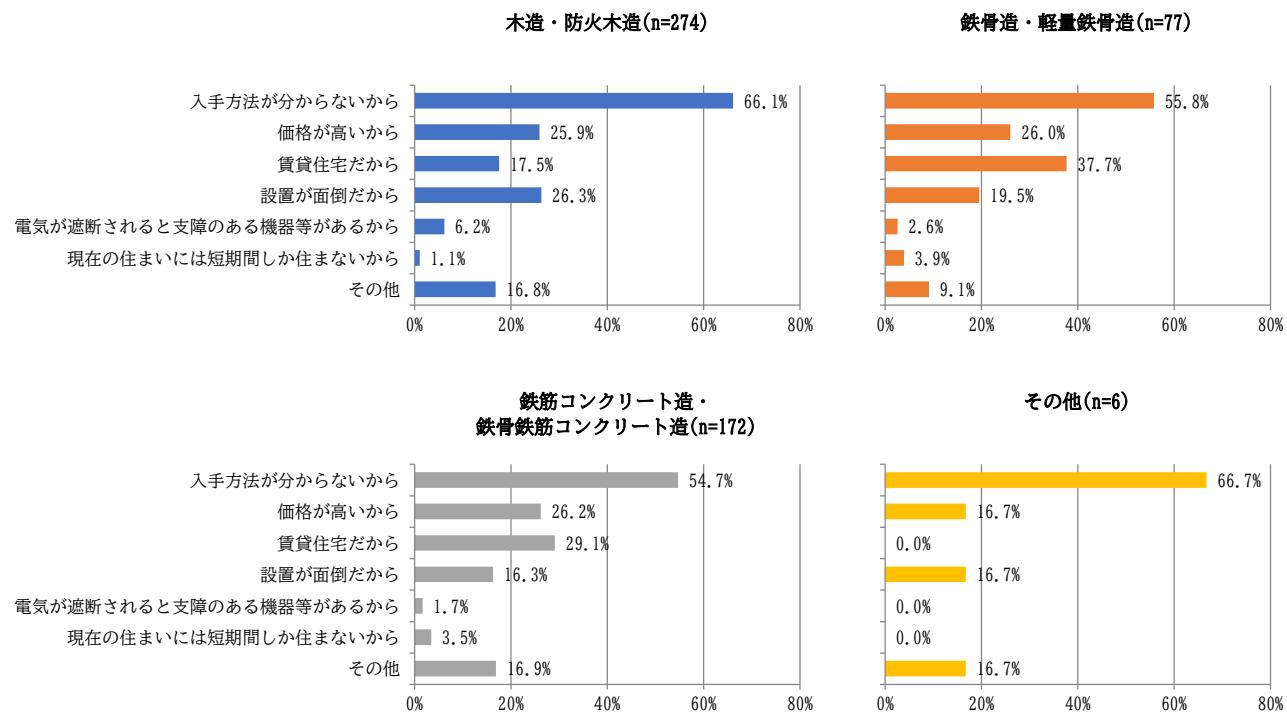
## 感震ブレーカーの設置に至っていない理由×居住地域別

居住地域別にみると、すべての地域で「入手方法が分からないから」が最も多いが、「小田2丁目」「小田5丁目」「幸町1丁目」「幸町2丁目」では「賃貸住宅だから」が次に多くなっている



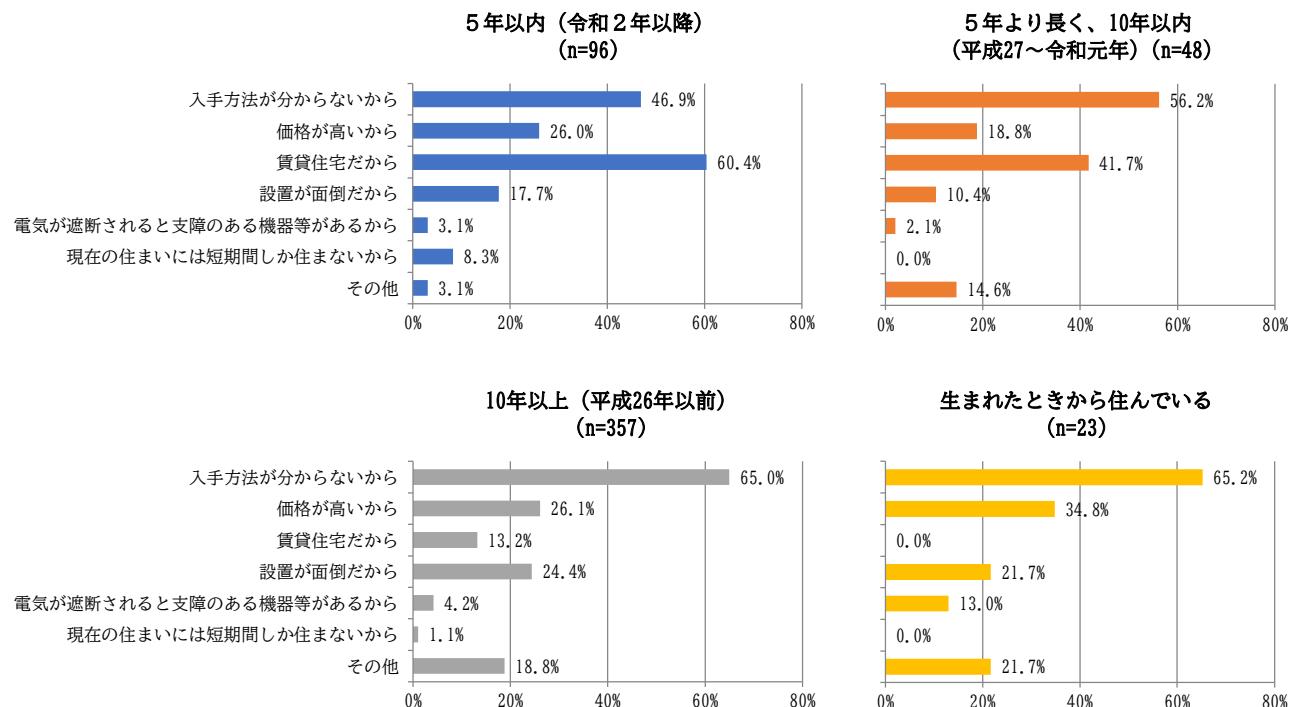
## 感震ブレーカーの設置に至っていない理由×建物構造別

建物の構造別にみると、いずれも「入手方法が分からないから」が最も多い。「鉄骨造・軽量鉄骨造」と「鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造」では「賃貸住宅だから」が次に多くなっている。



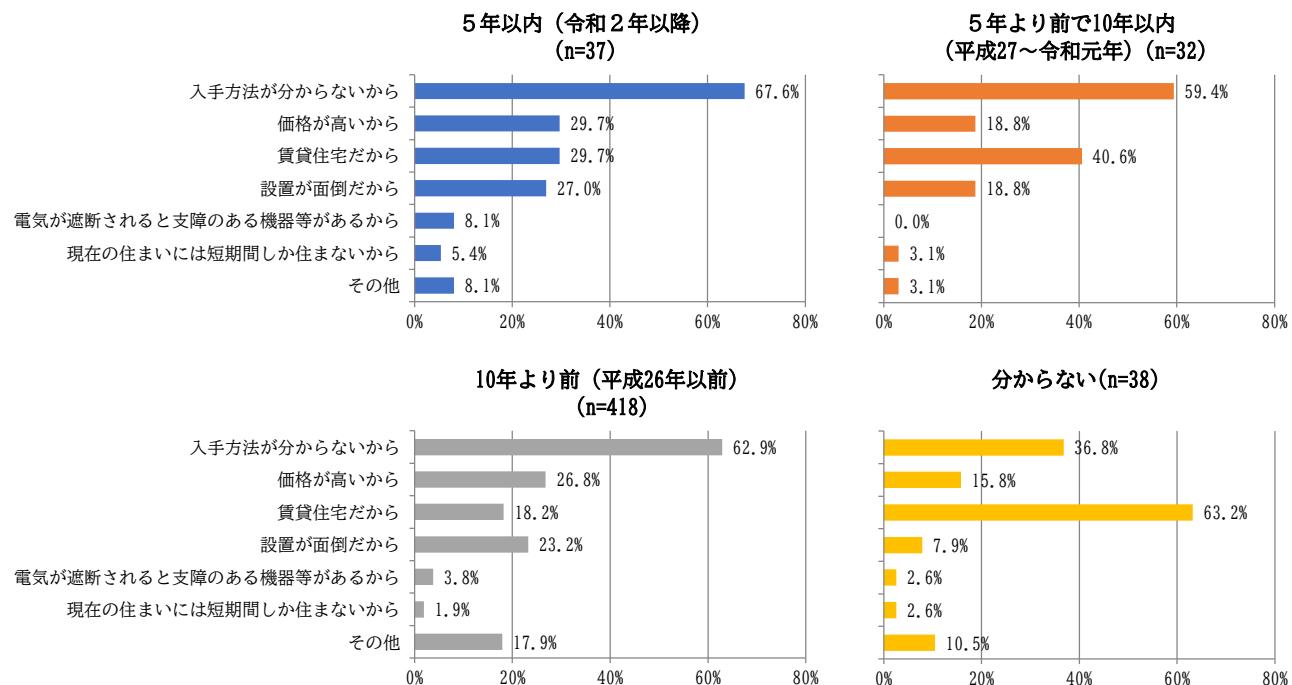
## 感震ブレーカーの設置に至っていない理由×居住期間別

居住期間別にみると、「5年以内（令和2年以降）」では「賃貸住宅だから」が最も多く、5年以上では「入手方法が分からないから」が最も多い理由となっている。



### 感震ブレーカーの設置に至っていない理由×建築時期別

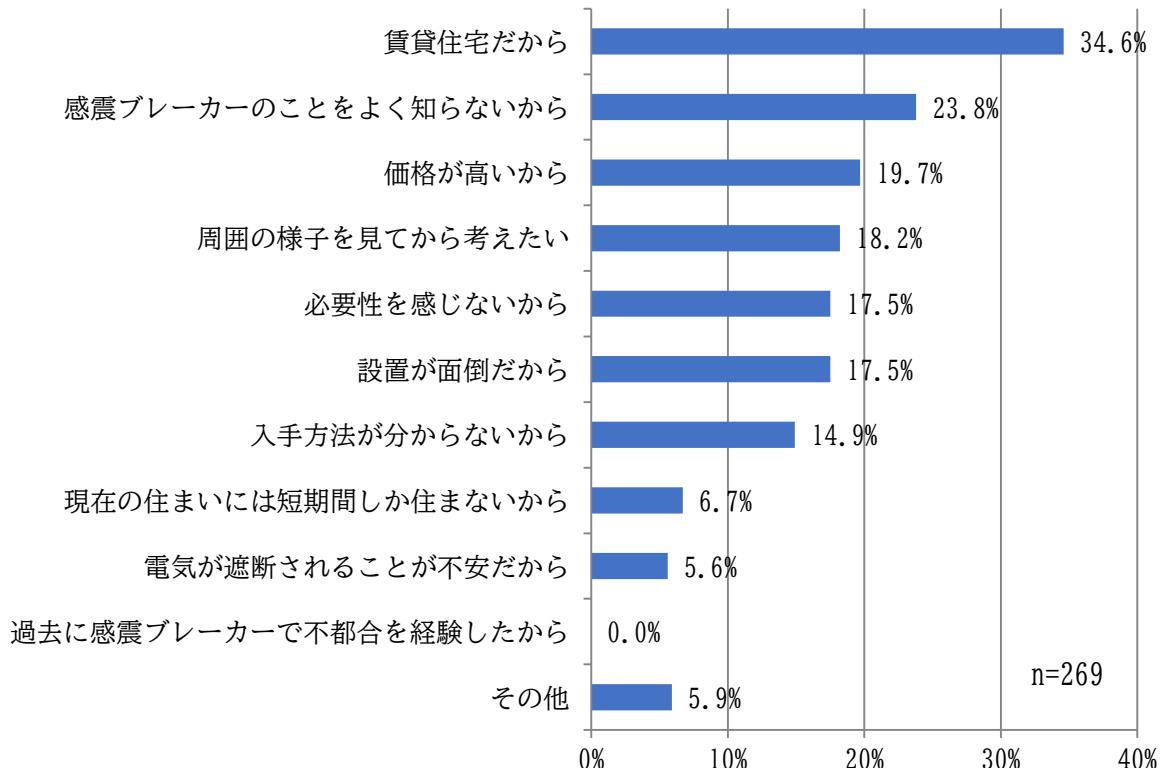
建築時期別にみると、「5年より前で10年以内（平成27～令和元年）」では「入手方法が分からないから」の次に「賃貸住宅だから」も多くなっている。



## (18-2)感震ブレーカーを設置しようと思わない理由

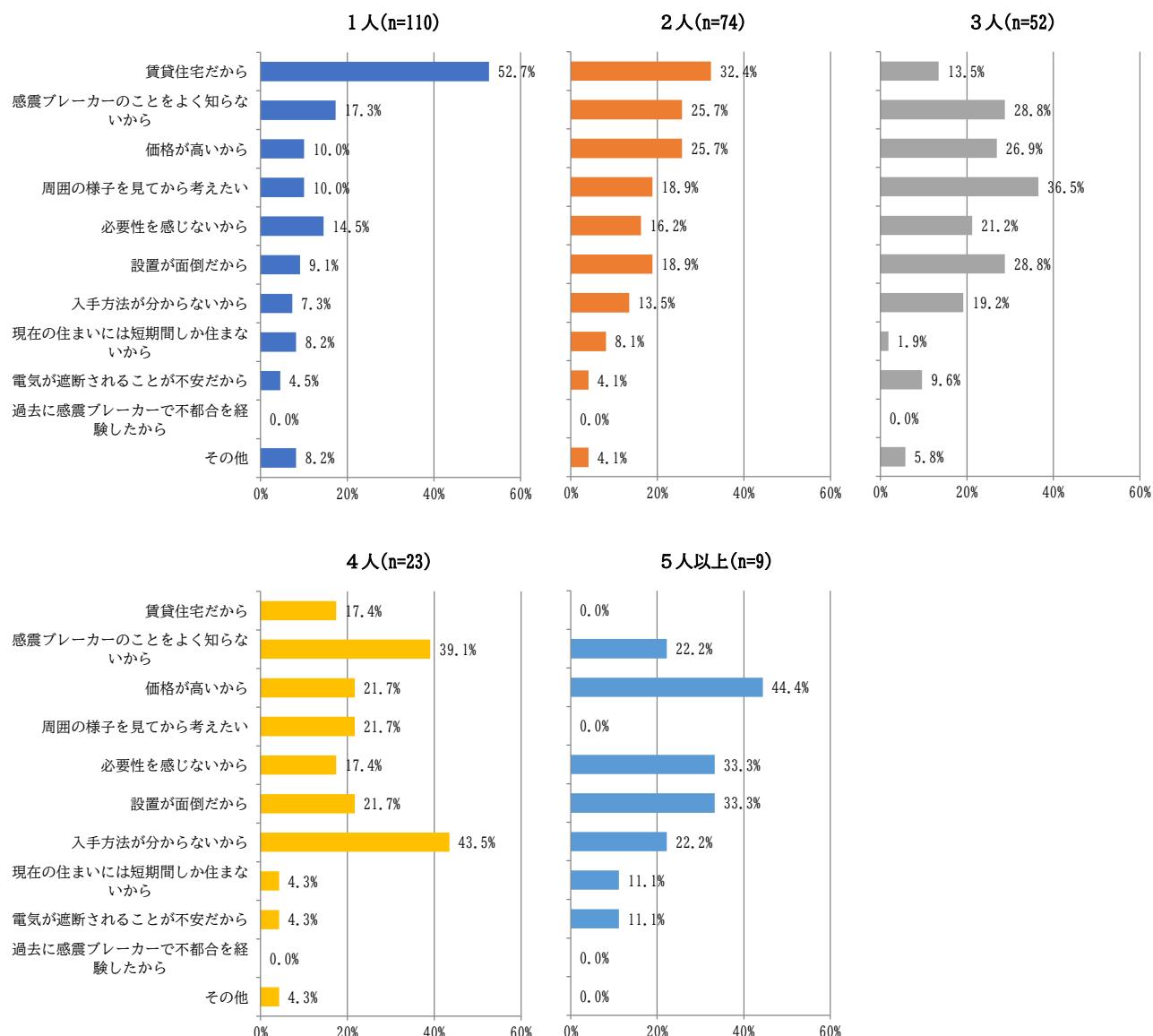
問 18-2. 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由について、当てはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

感震ブレーカーを設置しようと思わない理由については、「賃貸住宅だから」が 34.6%と最も高く、次いで「感震ブレーカーのことをよく知らないから」が 23.8%、「価格が高いから」が 19.7%となっている。



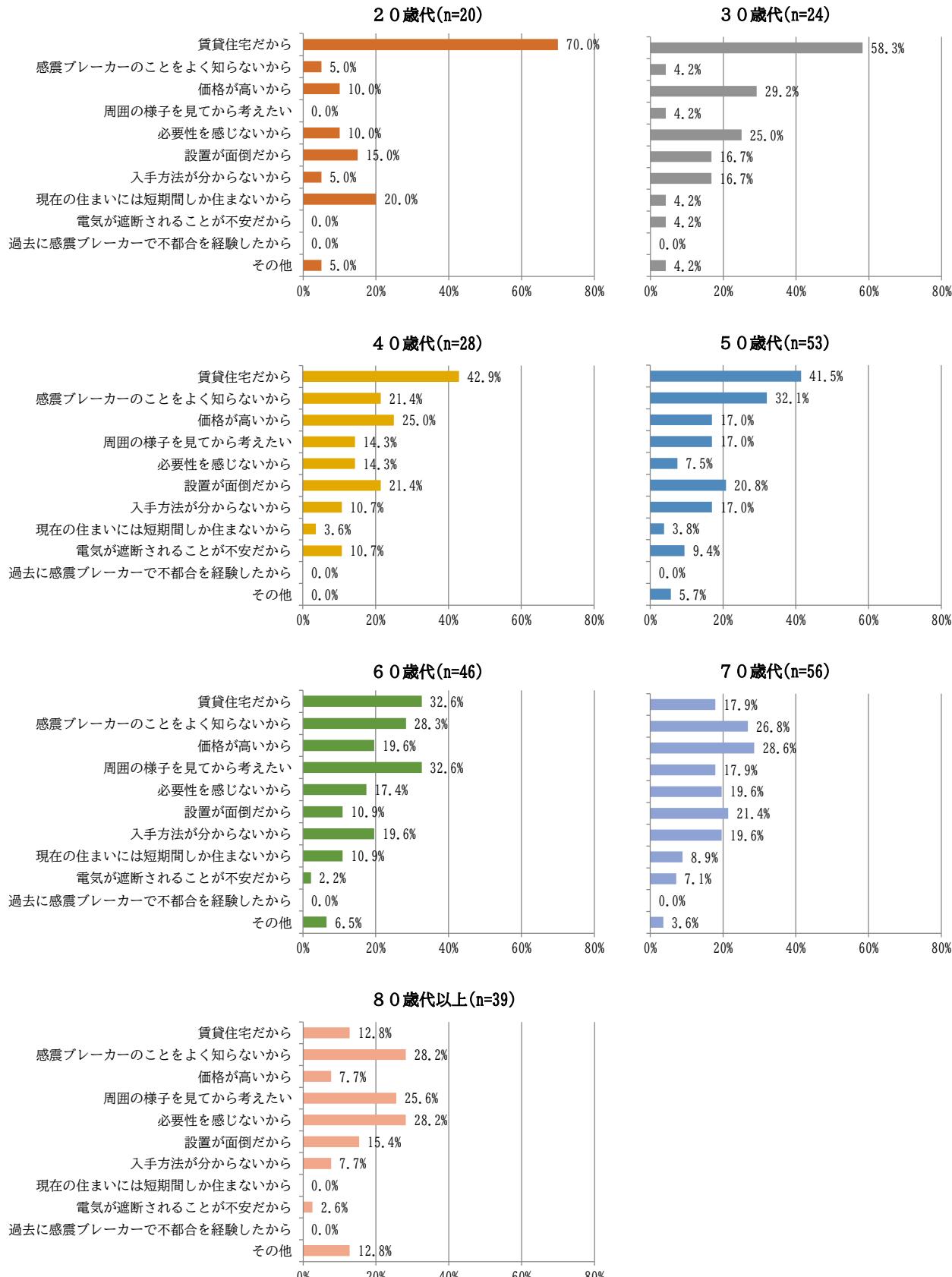
## 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由×世帯人数別

世帯人数別にみると、2人以下の世帯では「賃貸住宅だから」が最も多くなっているが、「3人」世帯では「周囲の様子を見てから考えたい」が、「4人」世帯では「入手方法が分からないから」が、「5人以上」世帯では「価格が高いから」がそれぞれ最も多い理由となっている。



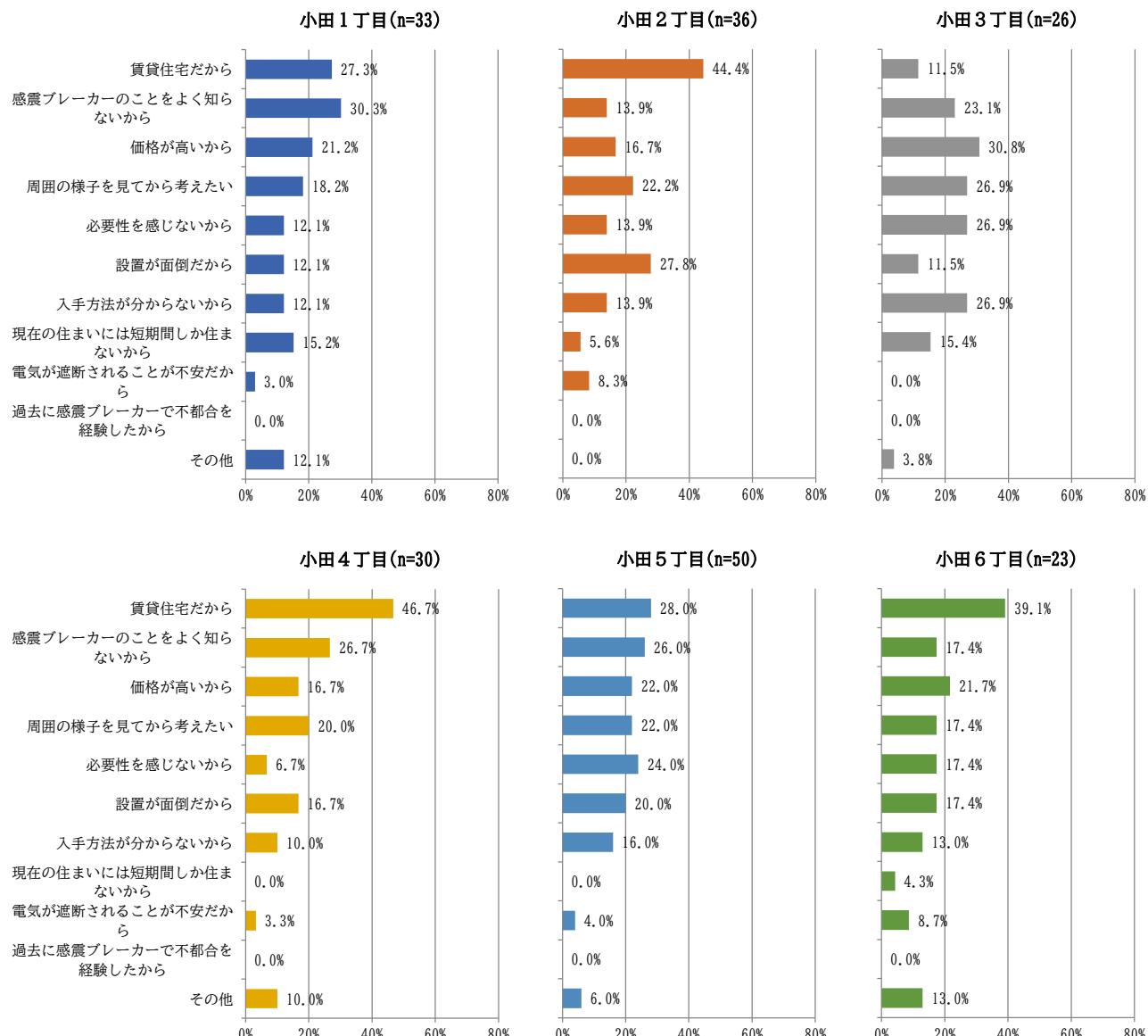
## 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由×世帯主の年齢別

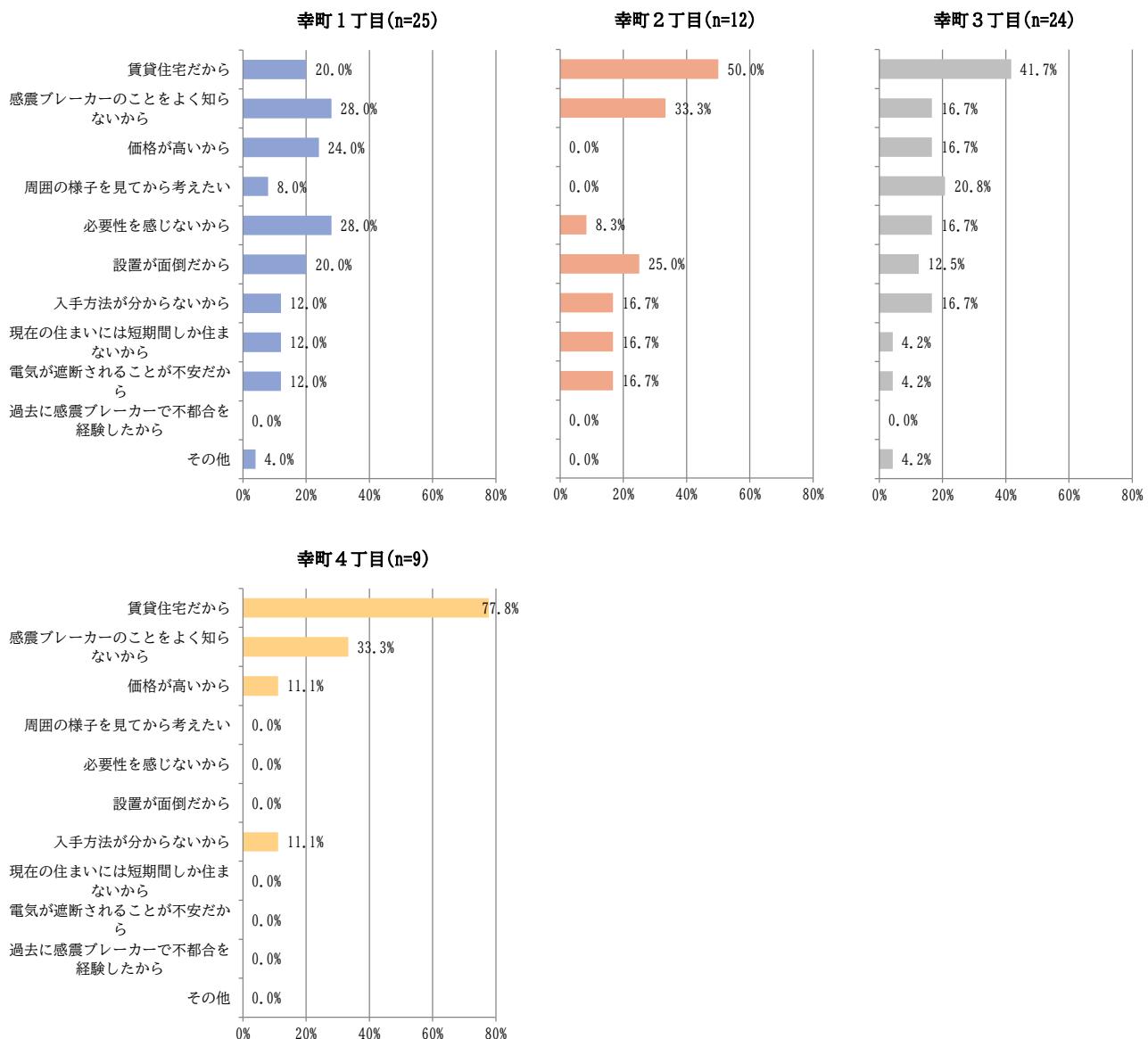
世帯主の年齢別にみると、20歳代から50歳代で「賃貸住宅だから」が最も多くなっている。他の年齢層をみると、70歳代では「価格が高いから」、60歳代では「賃貸住宅だから」と「周囲の様子を見てから考えたい」、80歳代以上では「感震ブレーカーのことをよく知らないから」と「必要性を感じないから」が多い理由となっている。



## 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由×居住地域別

居住地域別にみると、「小田2丁目」「小田4丁目」「小田5丁目」「小田6丁目」「幸町2丁目」「幸町3丁目」「幸町4丁目」で「賃貸住宅だから」が最も多い理由となっている。「小田1丁目」では「感震ブレーカーのことをよく知らないから」が、「小田3丁目」では「価格が高いから」が、「幸町1丁目」では「感震ブレーカーのことをよく知らないから」と「必要性を感じないから」が多くなっている。

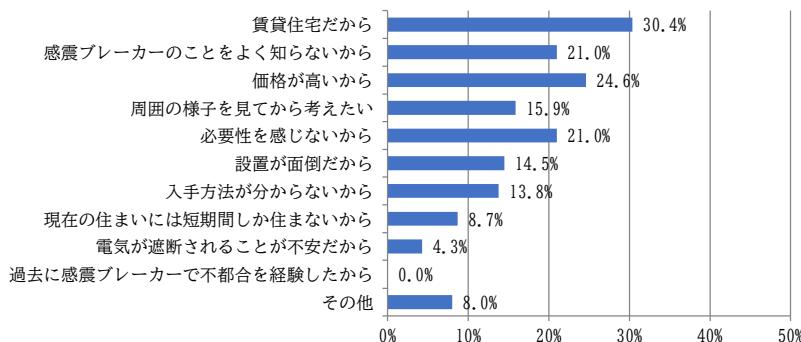




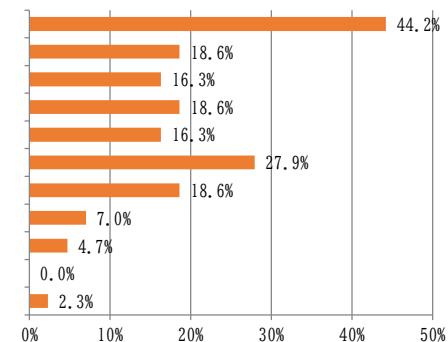
## 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由×建物構造別

建物の構造別にみると、すべてにおいて「賃貸住宅だから」が最も多い。次に多い理由としては、「木造・防火木造」では「価格が高いから」、「鉄骨造・軽量鉄骨造」では「設置が面倒だから」、「鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造」では「感震ブレーカーのことをよく知らないから」があがっている。

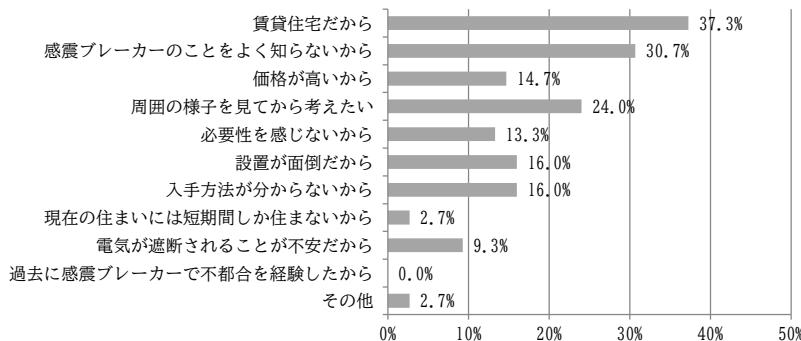
木造・防火木造(n=138)



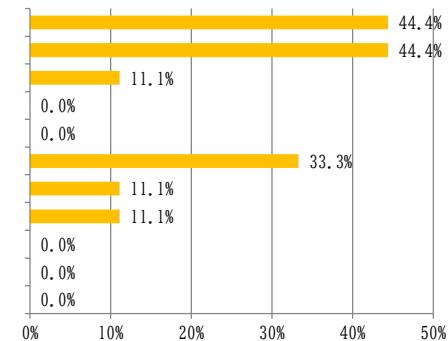
鉄骨造・軽量鉄骨造(n=43)



鉄筋コンクリート造・  
鉄骨鉄筋コンクリート造(n=75)

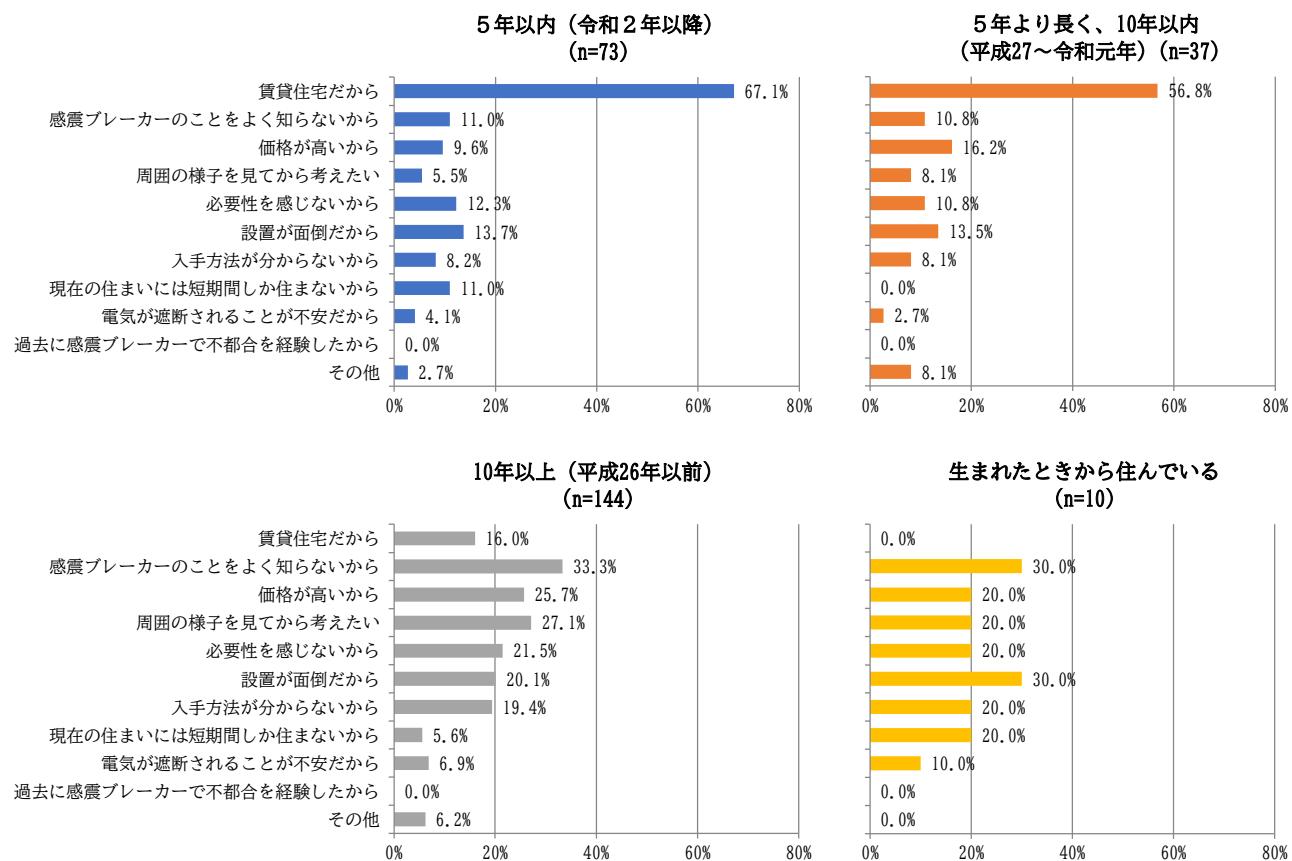


その他(n=9)



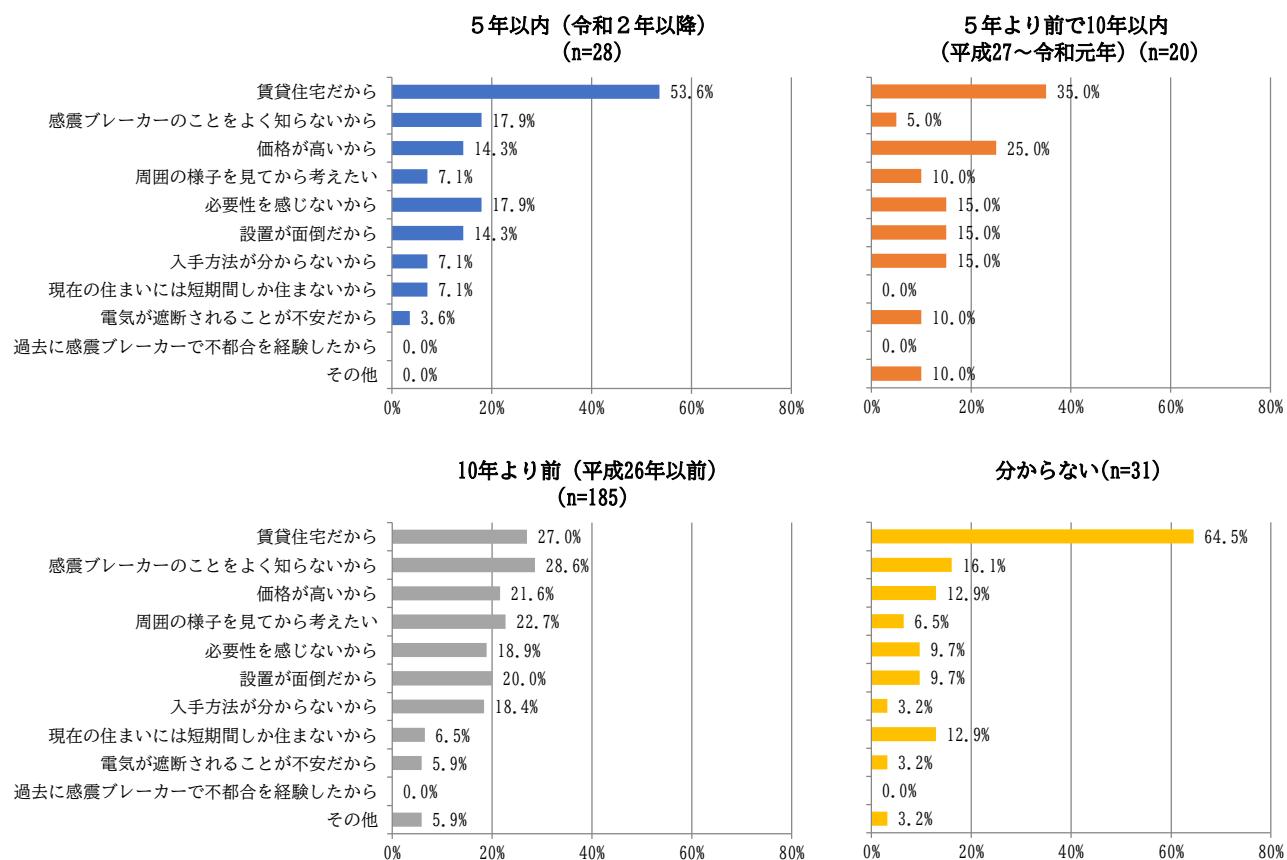
## 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由×居住期間別

居住期間別にみると、「5年以内（令和2年以降）」と「5年より長く、10年以内（平成27～令和元年）」では「賃貸住宅だから」が最も多く、「10年以上（平成26年以前）」では「感震ブレーカーのことをよく知らないから」が多くなっている。



## 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由×建築時期別

建築時期別にみると、「10年より前（平成26年以前）」では「感震ブレーカーのことをよく知らないから」が最も多いが、10年以内・分からぬでは「賃貸住宅だから」が最も多くなっている。

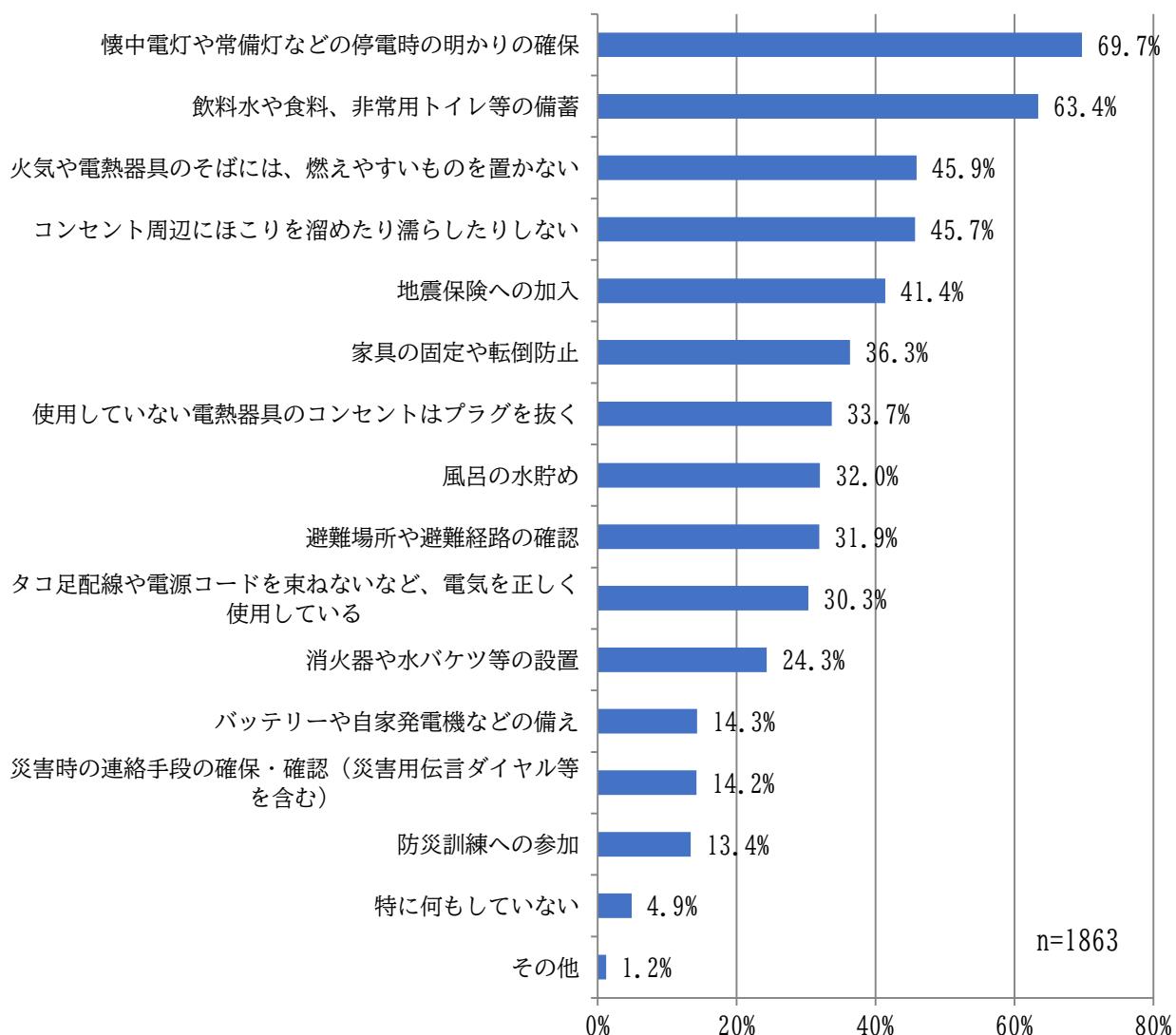


## 5 防災対策大規模地震時に揺れが収まった後の行動について、全員の方にお伺いします。

### (19)地震時の防災対策として意識していること、取り組み

問 19. 地震時の防災対策として、感震ブレーカーの設置以外に普段から意識していることや、取り組まれていることをすべてお選びください。(○はいくつでも)

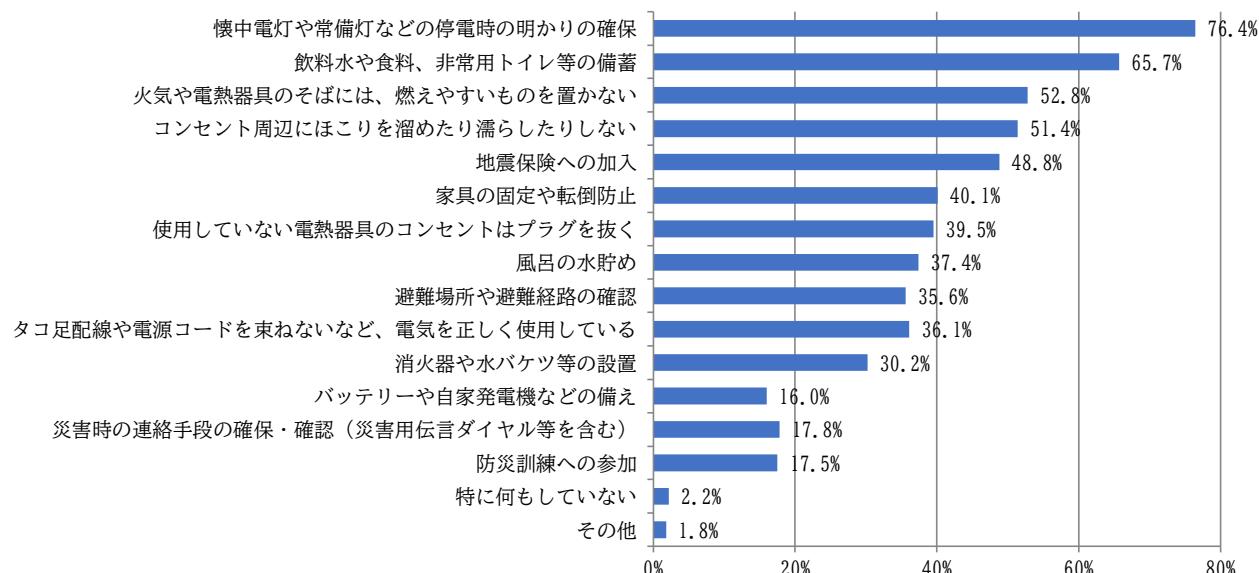
地震時の防災対策として意識していることや取り組みについて、「懐中電灯や常備灯などの停電時の明かりの確保」が 69.7% と最も高く、次いで「飲料水や食料、非常用トイレ等の備蓄」が 63.4%、「火気や電熱器具のそばには、燃えやすいものを置かない」が 45.9%、「コンセント周辺にはこりを溜めたり濡らしたりしない」が 45.7% となっている。



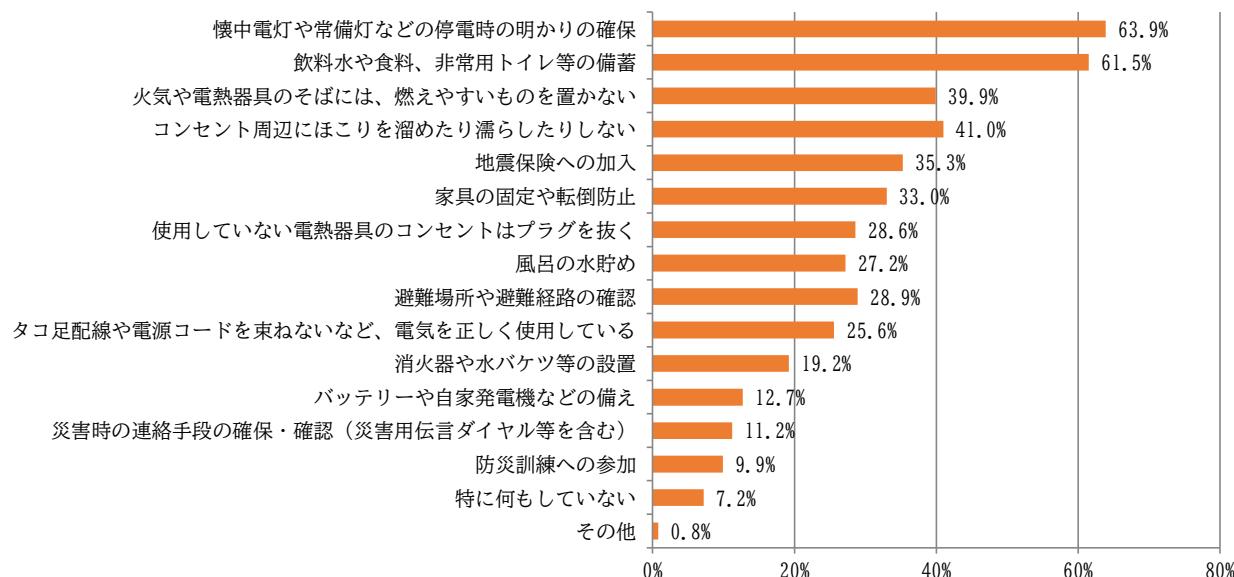
## 地震時の防災対策として意識していること、取り組み×感震ブレーカーについての認知別

感震ブレーカーについての認知別にみると、地震時の防災対策として意識していることや取り組みについては、認知による差はみられない。

はい(n=848)



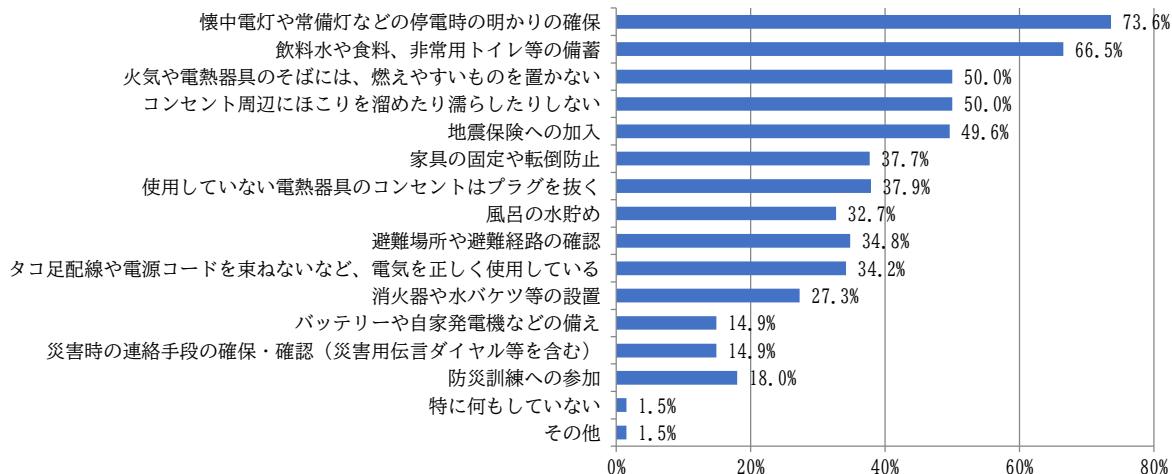
いいえ(n=1000)



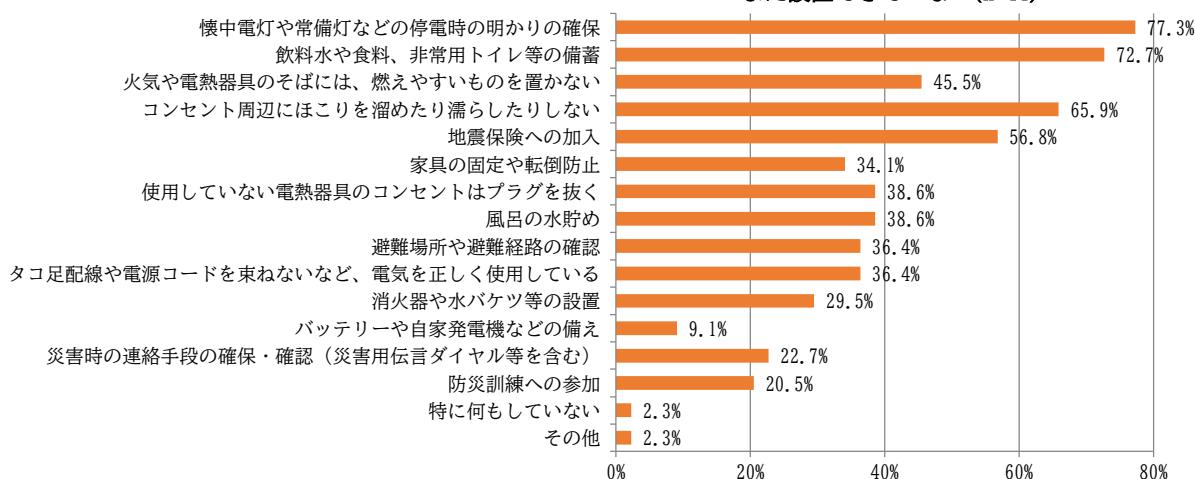
## 地震時の防災対策として意識していること、取り組み×感震ブレーカー設置状況別

感震ブレーカーの設置状況別にみると、いずれも上位2項目は「懐中電灯や常備灯などの停電時の明かりの確保」と「飲料水や食料、非常用トイレ等の備蓄」となっている。「設置することが決まっているものがあるが、まだ設置できていない」では「コンセント周辺にほこりを溜めたり濡らしたりしない」や「地震保険への加入」が多くなっている。

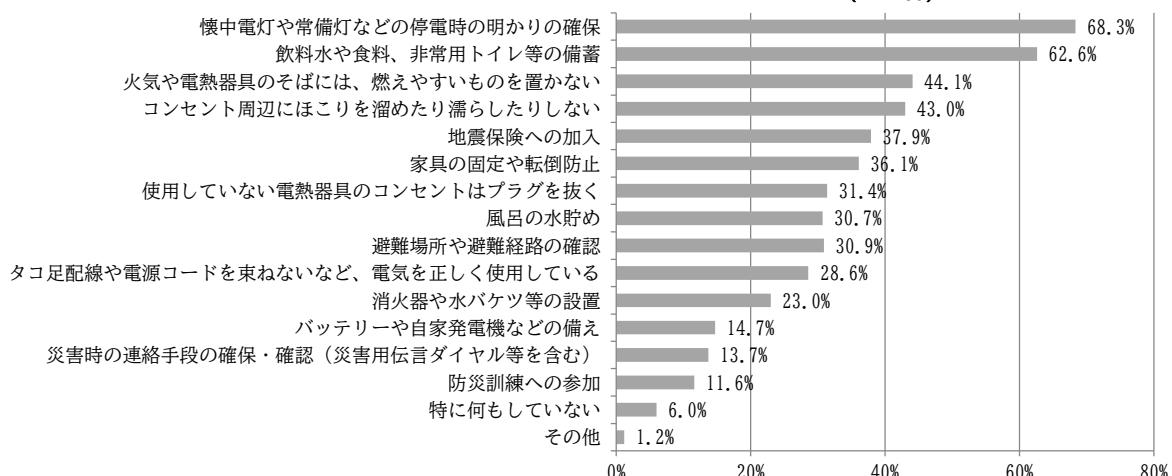
1つでも設置しているものがある  
(n=462)



設置することが決まっているものがあるが、  
まだ設置できていない(n=44)



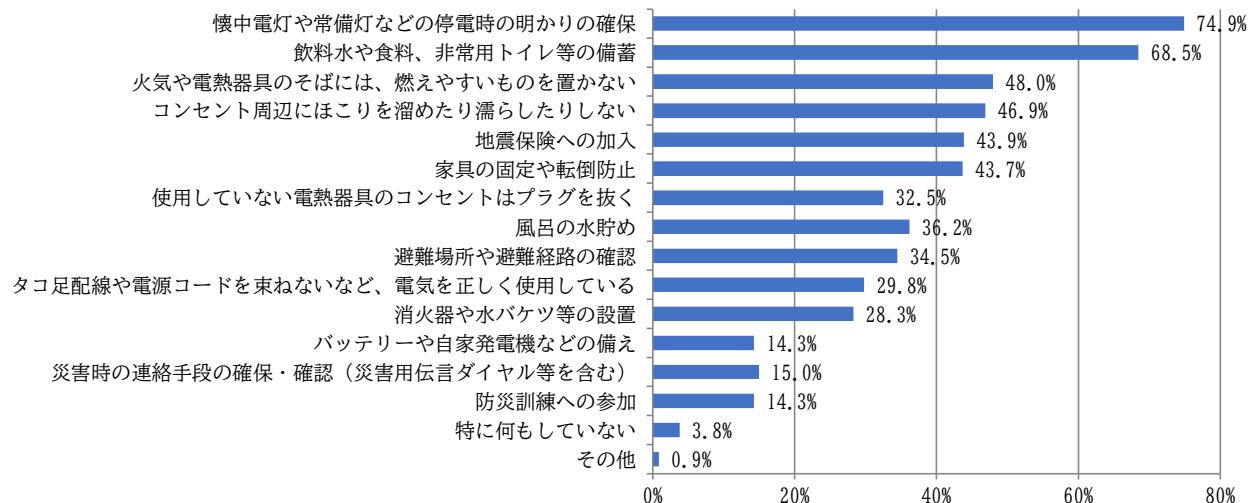
いずれも設置しておらず、設置する予定もない  
(n=1289)



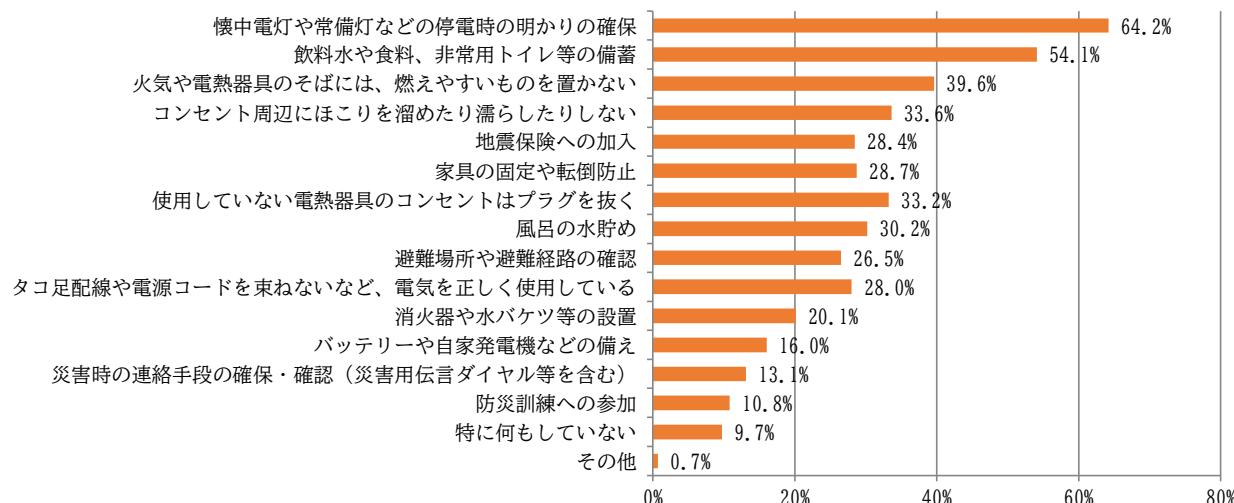
## 地震時の防災対策として意識していること、取り組み×感震ブレーカーの設置意向別

感震ブレーカーの設置意向別にみると、地震時の防災対策として意識していることや取り組みについて、設置意向による差はみられない。

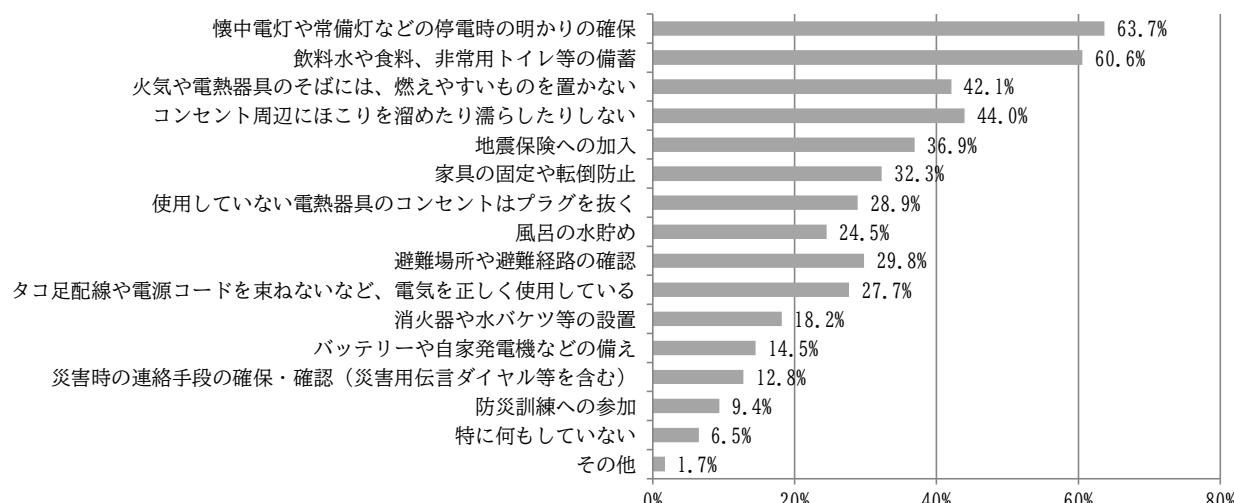
設置したいと思っている(n=533)



設置する意向はない(n=268)



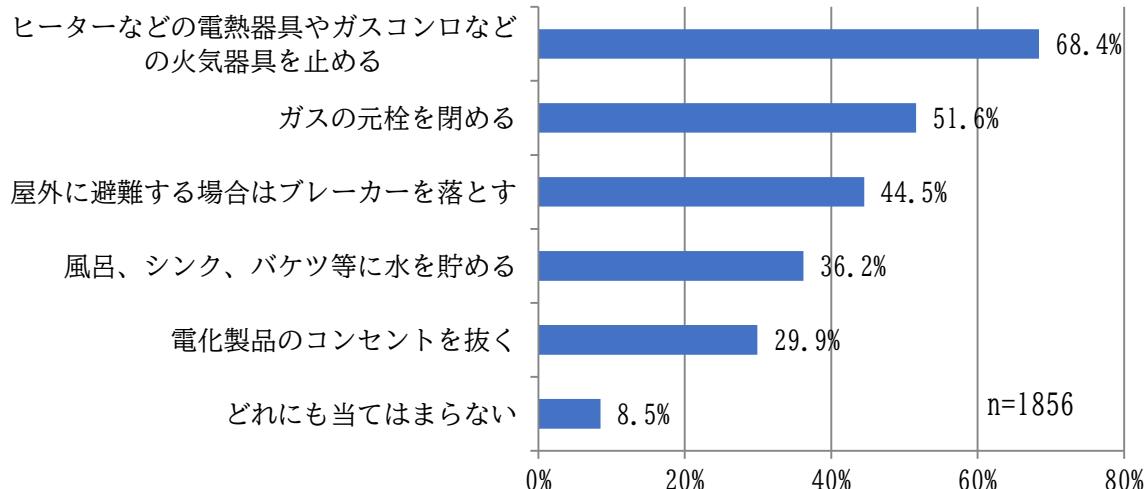
どちらでもない(n=477)



## (20)揺れが収まった後に取るであろう行動

問 20. ご自宅で、危険を感じる地震に遭遇した場合、揺れが収まった後にあなたが取るであろう行動として当てはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

危険を感じる地震に遭遇した場合、揺れが収まった後にあなたが取るであろう行動について、「ヒーターなどの電熱器具やガスコンロなどの火気器具を止める」が 68.4%と最も高く、次いで「ガスの元栓を閉める」が 51.6%、「屋外に避難する場合はブレーカーを落とす」が 44.5%となっている。



### III. アンケート調査票



## 川崎市「感震ブレーカーに関するアンケート」調査票

■この調査は、首都直下地震の発生に備え、川崎市不燃化重点対策地区の一部にお住いの方を対象に、大規模地震発生に伴う電気火災への備え等についてお尋ねするものです。(令和7年2月21日(金)までにご提出願います。)

■本調査は、本紙又はインターネットから回答が可能です。インターネットで回答される場合は、下記の認証ID(5桁の英数字)をご入力ください。下記QRコードからもアクセスできます。詳しくは同封の『川崎市役所からの「感震ブレーカー」に関するアンケート調査のお願い』の裏面をご参照ください。

#### ■インターネット回答の利用者情報



認証ID:

認証IDは、一人が複数回答することを防ぐためのものであり、認証IDから個人が特定されることはありません。



防災マスター(見習い)  
マナビー

#### ■インターネット回答ページ検索方法

川崎市のホームページ上

(トップ→防災・防犯・安全→防災→日頃の備え→感震ブレーカーについて)でも回答先を掲載しております。

- 以下の設問ごとに、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 本調査票は原則世帯主の方がご回答いただきますようお願いいたします。
- ご記入いただいた調査票は統計以外の目的には使用しませんので、ありのままをご記入ください。

### 1 あなたの世帯について、全員の方にお伺いします。

#### 問1. 世帯人数は何人ですか。(○は1つ)

1. 1人      2. 2人      3. 3人      4. 4人      5. 5人以上

#### 問2. 世帯主の方の年齢(年代)はどれですか。(○は1つ)

1. 10歳代      2. 20歳代      3. 30歳代      4. 40歳代      5. 50歳代  
6. 60歳代      7. 70歳代      8. 80歳代以上

### 2 現在お住まいの住宅について、全員の方にお伺いします。

#### 問3. お住いの丁目はどちらですか。(○は1つ)

1. 小田1丁目      2. 小田2丁目      3. 小田3丁目      4. 小田4丁目      5. 小田5丁目  
6. 小田6丁目      7. 幸町1丁目      8. 幸町2丁目      9. 幸町3丁目      10. 幸町4丁目

#### 問4. どのような建て方ですか。(○は1つ)

1. 一戸建      2. 長屋建(テラスハウスなど)  
3. 共同住宅(マンション・アパートなど)      4. その他

問5. どのような構造ですか。(○は1つ)

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 1. 木造・防火木造               | 2. 鉄骨造・軽量鉄骨造 |
| 3. 鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造 | 4. その他       |

問6. 持ち家か借家かなどの別(○は1つ)

- |                          |       |           |
|--------------------------|-------|-----------|
| 1. 持ち家                   | 2. 借家 | 3. 住宅に間借り |
| 4. 住宅以外の建物(寄宿舎・旅館・宿泊所など) |       |           |

問7. 現在お住まいの住宅への居住期間(入居時期)(○は1つ)

※入居してから住宅が建て替えられた場合は、建て替え後の住宅について記入してください

- |                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 5年以内(令和2年以降)   | 2. 5年より長く、10年以内(平成27～令和元年) |
| 3. 10年以上(平成26年以前) | 4. 生まれたときから住んでいる           |

問8. 現在のお住まいの建築(完成)の時期(○は1つ)

※増改築や改修工事等をした場合は、その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば、その時期を建築の時期とします。

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 5年以内(令和2年以降)    | 2. 5年より前で10年以内(平成27～令和元年) |
| 3. 10年より前(平成26年以前) | 4. 分からない                  |

3 大規模地震に伴って発生する電気火災について、全員の方にお伺いします。

問9. 地震時に、電熱器具や配線など、電気が原因で火災が発生する場合があることをご存じですか。(この調査を実施する前の状態でお答えください。)(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

→※1を選んだ方は、問9-1にもお答えください。

問9-1. 電気火災の存在を認識したきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- |           |               |          |
|-----------|---------------|----------|
| 1. 報道や書籍等 | 2. 訓練や防災教育の機会 | 3. 家族や知人 |
| 4. 自治体の広報 | 5. その他        |          |

4 感震ブレーカーについて、全員の方にお伺いします。

問10. 大規模地震時に、自動的に電気を遮断して電気火災の発生を抑制する、「感震ブレーカー」という装置があることをご存じでしたか。  
(この調査を実施する前の状態でお答えください。)(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問11. 現在お住まいの住宅における、感震ブレーカーの設置状況について、当てはまるものをお選びください。(○は1つ)

- |                                   |                |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. 1つでも設置しているものがある                |                |
| 2. 設置することが決まっているものがあるが、まだ設置できていない |                |
| 3. いずれも設置しておらず、設置する予定もない          | →※問18にお進みください。 |

※ 問11で、1または2を選んだ方にお伺いします。

→問 12. どのような感震ブレーカーを設置していますか。以下の写真を参考に、当てはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

1. 分電盤タイプ(内蔵型)

3. コンセントタイプ

■分電盤に内蔵されたタイプ



写真提供：パナソニック(株)

2. 分電盤タイプ(後付型)

4. 簡易タイプ

■分電盤に外付けしたタイプ



■簡易タイプ

(ブレーカーに、自分で重りなどを取り付けるタイプ)



写真提供：株式会社生方製作所

■コンセントタイプ



写真提供：大和電器(株)

■コンセントタイプ  
(設置イメージ)



問 13. 感震ブレーカーを設置、または設置を決めた時期はいつ頃ですか。

設置時期が複数ある場合は、最も古い時期をお答えください。(○は1つ)

- |            |                 |                |
|------------|-----------------|----------------|
| 1. 最近3か月以内 | 2. 3か月よりも前で1年以内 | 3. 1年よりも前で5年以内 |
| 4. 5年より前   | 5. もともと設置されていた  |                |

問 14. 感震ブレーカーを設置、または設置を決めたのは、どのようなタイミングでしたか。(○は1つ)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 住まいを新築、または購入した | 2. 住まいをリフォームした |
| 3. 賃貸住宅に引っ越しした    | 4. その他         |

問 15. 現在お住まいの住宅に感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけについて、当てはまるものを、すべてお選びください。(○はいくつでも)

- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 自治体から支給された   | 2. 自治体や自治会、消防訓練などで勧められた     |
| 3. もともと設置されていた  | 4. 新築・リフォーム時に勧められた          |
| 5. 知人・親族等に勧められた | 6. 報道等により、電気火災への対策が重要だと認識した |
| 7. その他          |                             |

問 16. 停電時の備えとして、電気が遮断すると支障のある機器(生命の維持に直結する医療用機器やコンピュータのサーバー等)のために、バッテリーや非常用電源を備えていますか。(○は1つ)

- |       |        |               |
|-------|--------|---------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. 該当する機器等はない |
|-------|--------|---------------|

問 17. 感震ブレーカーの設置を考える前と現在とで、防災に対する意識や行動の変化について当てはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 電気火災に限らず防災意識が高まった                      | 2. 電気火災に対する防災意識が高まった |
| 3. 特に変化はない                                | 4. 電気火災に対する不安が軽減された  |
| 5. 電気火災に対する不安が軽減し、電熱器具等のコンセントのプラグを抜かなくなった |                      |
| 6. その他                                    |                      |

※ 問 19 に進んでください。

(一次面に進んでください。)

※問 11 で、3を選んだ方にお伺いします。

問 18. 現在お住まいの住宅に感震ブレーカーを設置する意向はありますか。(○は1つ)

- 1. 設置したいと思っている
- 2. 設置する意向はない
- 3. どちらでもない

→※1を選んだ方は、問 18-1にもお答えください。

問 18-1. 感震ブレーカーの設置に至っていない理由について、当てはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- 1. 入手方法が分からぬから
- 2. 設置が面倒だから
- 3. 価格が高いから
- 4. 電気が遮断されると支障のある機器等があるから
- 5. 賃貸住宅だから
- 6. 現在の住まいには短期間しか住まないから
- 7. その他 ( )

→※2を選んだ方は、問 18-2にもお答えください。

問 18-2. 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由について、当てはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- 1. 価格が高いから
- 2. 周囲の様子を見てから考えたい
- 3. 必要性を感じないから
- 4. 電気が遮断されることが不安だから
- 5. 設置が面倒だから
- 6. 過去に感震ブレーカーで不都合を経験したから
- 7. 入手方法が分からぬから
- 8. 感震ブレーカーのことをよく知らないから
- 9. 賃貸住宅だから
- 10. 現在の住まいには短期間しか住まないから
- 11. その他 ( )

## 5 防災対策・大規模地震時に揺れが収まった後の行動について、全員の方にお伺いします。

問 19. 地震時の防災対策として、感震ブレーカーの設置以外に普段から意識していることや、取り組まれていることをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- 1. 消火器や水バケツ等の設置
- 2. 飲料水や食料、非常用トイレ等の備蓄
- 3. 風呂の水貯め
- 4. 懐中電灯や常備灯などの停電時の明かりの確保
- 5. 家具の固定や転倒防止
- 6. バッテリーや自家発電機などの備え
- 7. 防災訓練への参加
- 8. コンセント周辺にほこりを溜めたり濡らしたりしない
- 9. 避難場所や避難経路の確認
- 10. 使用していない電熱器具のコンセントはプラグを抜く
- 11. 地震保険への加入
- 12. 火気や電熱器具のそばには、燃えやすいものを置かない
- 13. タコ足配線や電源コードを束ねないなど、電気を正しく使用している
- 14. 災害時の連絡手段の確保・確認(災害用伝言ダイヤル等を含む)
- 15. その他
- 16. 特に何もしていない

問 20. ご自宅で、危険を感じる地震に遭遇した場合、揺れが収まった後にあなたが取るであろう行動として当てはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- 1. ガスの元栓を閉める
- 2. 電化製品のコンセントを抜く
- 3. 風呂、シンク、バケツ等に水を貯める
- 4. 屋外に避難する場合はブレーカーを落とす
- 5. ヒーターなどの電熱器具やガスコンロなどの火気器具を止める
- 6. どれにも当てはまらない

(ご協力ありがとうございました。)



ニヤビ先生



川崎市「感震ブレーカーに関するアンケート」

令和7年3月

川崎市 危機管理本部 危機対策担当

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町1番地

T E L : 044-200-2858 / F A X : 044-200-3972